

計量テキスト分析による  
〈平成論壇〉の生態の解明

月刊テキストマイニングレポート Vol.20 2018年12月31日号 (特別編)



間違いだらけの論客選び

後藤和智

(後藤和智事務所 OffLine)



# 新

## 間違いだらけの論客選び

計量テキスト分析による〈平成論壇〉の生態の解明

月刊テキストマイニングレポート Vol.20

後藤和智（後藤和智事務所 OffLine）

2018年12月31日（コミックマーケット95）

### 注意

1. 本書で使用したテキストデータは元の書籍を著者自らがデータ化したものです。
2. 本書を著作権法の定める私的使用の範囲外で公開などを行うことを禁じます。また、本書の使用により生じた問題についての責任は負いかねます。

## まえがき

---

### 我が国の論壇は腐っている！

……と叫び続けてはや3度目となります。通算では79冊目の同人誌ですね。皆様いかがお過ごしでしょうか。後藤和智です。2016年の冬コミにおいて、2010年代に出された「日本論」「日本人論」「日本社会論」40冊を分析するという企画として始まったものが、2017年の冬コミでは、今までにテキストマイニングの記事や同人誌で流用したのも加えて冊数を105冊に一気に増加させました。さらに書籍からOCRを経てテキストマイニングのためのテキストデータを作成する作業において、OCRソフトの「読取革命」上ではタグつけと簡単な修正だけをやっ、多くの修正はExcelのマクロを使って行うという手法を導入しました。その手法の一部は、2018年の夏コミで出した『Text Mining Maniax』で紹介しましたが、そのような悪魔の力を身に付けた結果……今回は……。

### 283冊。

いやあここまで増えるとは当初は思っていませんでしたよ。サークルカットでは、250冊を目標にしており、その時点で流用分を含めても「行けるかしら……」という感覚でした。それが、新しい手法を試して気をよくしてしまった結果これですよ。もしかしたら300冊行っていたかもしれない。

しかし、ただ闇雲に増やしたわけではありません。特定のテーマや目的を持って増やしたものもあります。それは次の3つです。

1. 長期にわたってコラムを連載していたり、あるいは論客として長く活動している著者。ここでは、櫻井よしこと香山リカを対象とした。また、寺脇研、和田秀樹、山田昌弘も、教育に関する論客として多めに取った。

2. 「言論」の世界において傍流に押さえ込まれてきた存在としての女性。女性の生き方に関する議論を、エッセイ的なものも含めて入れた。代表的なものとしては、上野千鶴子『女ざらい』、牧村朝子『ハッピーエンドに殺されない』、雨宮まみ『女子をこじらせて』、カレー沢薫『女ってなんだ!？』など。

3. 若者論、教育論を多めに。個人的な感覚として、1990年代から2010年代の議論は、若者論によって「言論」における社会認識の多くが形成されており、そのため平成年間の言論を考える上で、若者論を抜きにすることは考えられないから。

そんな感じで増やしに増やし続けた結果です。大量に書籍を加えたことによって、これまで「特徴がないのが特徴」としてきた著作の特徴が見えてきましたし、近い特徴をもった書籍も見えて

きました。

とはいえ、本書における書籍の選定基準は、決して客観的なものがあるわけではなく、分析者である私が、あれも入れたい、これも入れたい、と思いのままに入れていった結果ですので、まだまだ変わっていく要素は十分にあります。

さらに、分析を進めていくにつれて、この分野の書籍を増やそう、というのもいろいろと見えてきました。思ったままに増やしていているだけですが、いつかは平成の論壇、そして我が国の大衆言論の諸相が明らかになっていけばと思っています。

2018年12月20日 通常締め切りがかなり差し迫った寒い夜に仙台市内にて 後藤和智

## 分析の概要

---

本書は、次のページで取り上げた 283 冊の書籍について、形態素解析を用い、集計で得られた単語を集計して近い性質を持った書籍をクラスターに分けるという操作を行った。なお、使用するテキストデータは、すべて著者が自分でスキャンしたものを OCR ソフト（「読取革命」）と Excel を使って修正したものを使用している。分析には、フリーのテキストマイニングソフト「KH Coder」を用いている。KH Coder については、開発者による下記の著作を参照されたい。

樋口耕一『社会調査のための計量テキスト分析——内容分析の継承と発展をめざして』ナカニシヤ出版、2014 年

形態素解析には MeCab を用いた。ただ、著作によって、表記が異なる単語があること、また今回は分析からすべてひらがなの「名詞 B」などを除外しているため、表記の統一を行った。対象とした主な語は、名詞は「大人（おとな）」、「子供（子ども、こども）」、動詞は「繋がる」「関わる」「頑張る」「溢れる」「引きこもる」など。詳細は巻末の資料編に掲載してある MeCab の辞書を参照されたい。また「しばく」も、「動詞 B」にカウントされることを防ぐため、敢えて「シバく」として単語を登録した。そのほか、文章としての特徴を探るために、「かもしれない」「ほかならない」という言葉について、「かも知れ」「他なら」という「ナイ形容」の形容詞（「～ない」がつくことによって形容詞となる単語の語幹）

本書では次の分析を行っている。

### 1. 書籍のクラスター分け

全体での単語の出現数が 800 以上の単語を用いて、書籍を 40 のクラスターに分けた。ただし、全ての単語を使用したわけではなく、時代の影響を受けやすい「人名」、文体の影響を受けやすい「感動詞」、及びカウントが多くなりやすい、ひらがなだけの単語である「動詞 B」「名詞 B」「形容詞 B」「副詞 B」を除外した 1,407 単語である。

クラスターはユークリッド距離を用いてワード法で行った。クラスター分析に際し、単語の数の影響を除くために、書籍ごとに標準化を行った。

### 2. 多次元尺度構成法による単語のカテゴリー分けと、それに基づく集計、点数化

分析に使った単語のうち、さらに主要な単語として、全体での出現数が 1,500 以上の 741 単語について、多次元尺度構成法を使ってカテゴリー分けを行った。集計の基準は、今まで使っていた段落だとあまりにも文章の数と分析の時間が大きくなるため、小見出しとした。カテゴリー分けの結果と解釈については右の通り。また集計は文ごとに行った（それぞれのカテゴリーの単語が使われている文の割合）。

そこから、さらに、KH Coder のクラスター分析機能を使って標準化を行い、各カテゴリーの使

出現数1,500以上の単語のカテゴリ分け

カテゴリ	単語	意味
1	社会, 自分, 世界, 人間, 子ども, 時代, 経済, 言葉, 若者, 学校, 現実, 情報, 企業, 自己, 家族, 人々, 大学, 文化, 個人, 価値, 状況, 一つ, 理由, 能力, 自身, 地域, 一般, 状態, 環境, 内容, 対象, 傾向, 自体, 現象, 関心, 機会, 教育, 関係, 生活, 意味, 存在, 仕事, 労働, 意識, 調査, 成長, 変化, 理解, 活動, 研究, 説明, 影響, 経験, 参加, 期待, 対応, 必要, 可能, 重要, 日本, 問題, かも知れ, 違い, 前, 多く, 場合, 結果, いま, 現在, すべて, 当時, 事実, 全体, 以降, その後, それぞれ, 時期, 一部, 以前, 多数, 言う, 思う, 考える, 見る, 持つ, 書く, 出る, 知る, 生きる, 受ける, 行う, 働く, 入る, 呼ぶ, 見える, 求める, 作る, 得る, 生まれる, 変わる, 違う, 与える, 増える, 言える, 出す, 起きる, 終わる, 変える, 進む, 続く, 選ぶ, 起こる, 始まる, 生じる, 決める, 限る, 含める, 多い, 強い, 高い, 新しい, 大きい, 少ない, 実際, 当然, 特に, 人, 力, 手, 先, 次, 間, 形, 逆	一般
2	主義, 政治, 国民, 国家, 政府, 責任, 近代, 政策, 政権, 国際, 基本, 中心, 構造, 世紀, 知識, 目的, 考え方, 学者, 具体, 事象, 役割, 危機, 前提, 二つ, 条件, 考え, 方向, 段階, 行政, 批判, 主張, 運動, 議論, 共同, 指摘, 評価, 機能, 実現, 反対, 組織, 指導, 解決, 維持, 共通, 発想, 自由, アメリカ, 戦後, ほか, 述べる, 示す, 認める, 守る, 失う, 支える, 含む, 開く, 広い, 同時に, 国	社会
3	女性, 世代, 男性, 会社, 学生, 子供, 家庭, お金, 人生, 教師, 生徒, 高校, 母親, 先生, 未来, 障害, 原因, レベル, 男女, 全国, 社員, 心理, 現場, 年齢, パブル, 父親, 海外, 世の中, ケース, 同士, データ, 小学校, 時点, 生き方, 全員, 地元, 結婚, 勉強, 就職, 希望, 授業, 卒業, 担当, 好き, 不安, 豊か, 当たり前, 無理, 昭和, 将来, たくさん, 後半, 買う, 教える, 続ける, 比べる, 住む, 学ぶ, 育てる, 送る, 始める, 広がる, 育つ, 上がる, 減る, 抱える, 決まる, 若い, 低い, 難しい, 厳しい, 早い, 親, 家, 夢, 夫, 数, 年, 妻, 上, 金	生活
4	日本人, 歴史, 精神, 事件, 現代, 思想, 立場, 集団, 部分, 感情, 原発, 権力, 理想, 市民, 方法, 論理, 背景, 概念, 態度, 本質, 動き, 姿勢, 流れ, 最終, 人類, 手段, 過程, 戦争, 行動, 選挙, 表現, 行為, 発言, 否定, 判断, 分析, 意見, 認識, 支配, 代表, 差別, 展開, 成立, 象徴, 攻撃, 思考, 要求, 志向, 解釈, 構成, 失敗, 明らか, 自然, 同様, 危険, 明確, 不可能, ひとつ, 自ら, 絶対, 過去, 今日, 本来, はじめ, 直接, 異なる, 立つ, 繰り返す, 置く, 向ける, 問う, 至る, 受け入れる, 現れる, 論じる, 生み出す, 訴える, 果たす, 正しい, 最も, 少なくとも, 側	社会思想
5	ネット, 相手, テレビ, 大人, 最初, 感覚, 場所, 最後, 特徴, 話, 登場, イメージ, 利用, 紹介, 体験, 一緒, 普通, 非常, 確か, 大切, 簡単, 単純, 様々, 東京, 今, 時間, 最近, 結局, 昔, 使う, 感じる, 行く, 語る, 聞く, 読む, 来る, 取る, 入れる, 信じる, 思える, 超える, 分かる, 残る, 集まる, 集める, 戻る, 悪い, 良い, 長い, 近い, 少し, 本当に, 心, 目, 本, 子, 声, 他, 姿, 別, 場, 例, 身, 気, 外	コミュニケーション
6	制度, システム, 市場, 技術, 資本, 産業, 金融, ポスト, 人びと, 現状, 規模, 公共, 諸国, 目標, 課題, 団体, 住民, 改革, 選択, 競争, 保障, 管理, 崩壊, 保護, 形成, 拡大, 成功, 開発, 発展, 強調, 規制, 導入, さまざま, 平等, 新た, 多様, 積極, イギリス, ヨーロッパ, 欧米, 従来, 目指す, 加える, 進める, 陥る, 下, 道	政治活動
7	憲法, 首相, 民主, 体制, 大統領, 科学, 外国, 委員, 権力, 伝統, 官僚, 原理, 革命, 軍事, 議員, 外交, 最大, 民族, 戦略, 道徳, 国内, 利益, 主体, 理論, 機関, 大衆, 事故, 法律, 国会, 理念, 内閣, 合理, 秩序, あり方, 領域, 決定, 支持, 保守, 発表, 改正, 対立, 会議, 独立, 破壊, 計画, 排除, 宣言, 意思, 安全, 平和, 完全, 明治, 自民党, 民主党, 中国, 米国, 韓国, 米, 日, アジア, ドイツ, フランス, 沖縄, 台湾, 一月, 二月, 行なう, 基づく, 核	政治思想
8	物語, メディア, 他者, 映画, 作品, 被害, ゲーム, 新聞, インターネット, 犯罪, 身体, 本書, 暴力, 空間, 人物, 人気, 要素, マスコミ, 文章, 話題, 視点, 想像, 報道, デモ, 注目, 確認, 発生, 依存, 信頼, 記憶, 特定, 共有, 関連, 肯定, 反応, 設定, 疑問, 間違ひ, 今回, 描く, 死ぬ, 向かう, 許す, 抱く, 見せる, 忘れる, 触れる, 殺す, 過ぎる, 起こす, 挙げる, 残す, 取り上げる, 似る, 捉える, 深い, 決して, 初めて, 常に, 種	メディア
9	オタク, 少年, 記事, 少女, 小説, 番組, 読者, アニメ, 記者, キャラクター, 患者, 週刊, 写真, 主人公, ニュース, 引きこもり, 作家, マンガ, 自殺, 出版, 編集, 面白い, 死, 愛, 脳	文化
10	格差, 専門, 地方, 収入, 都市, 人口, 高齢, フリーター, 職業, 医療, 学力, 所得, 教授, リスク, 効果, 事業, 年金, 福祉, 基準, モデル, 保険, 階層, 水準, 分野, 住宅, 貧困, 消費, 努力, 雇用, 生産, 経営, 学習, 支援, サービス, 増加, 低下, 投資, 採用, 発達, 自立, 子育て, 派遣, 対策, 平均, 負担, 提供, 高度, 十分, 安定, 大量, 困難, 平成, 今後	経済、福祉
11	コミュニケーション, 気持ち, 日常, 他人, 雑誌, 女子, 商品, 思い, 本人, バカ, 男子, 友人, 仲間, 英語, 名前, 世間, 感じ, グループ, 恋愛, 電話, 取材, セックス, メール, 報告, 質問, 大事, 幸せ, 仕方, 一番, 答える, 話す, 伝える, 気づく, 食べる, 驚く, 覚える, 会う, 合わせる, 楽しい, 弱い, 必ず, 女, 男, 顔, 母, 頭, 父, 口, 娘, 街, 性	日常、愚痴
12	天皇, 宗教, 欲望, 人権, 文学, 人格, 裁判, 文明, 哲学, 言語, 北朝鮮, 朝鮮, 神, 敵	哲学

# 新・間違いだらけの論客選び

—計量テキスト分析による〈平成論壇〉の生態の解明（月刊テキストマイニングレポート Vol.20）

用頻度から点数を算出した。

## 3. 関連語

KH Coder の関連語検索機能を使って、Jaccard 係数を求めることにより、関連語を示した。関連語の集計基準は段落とし、単語はここまでの分析とは違い、200 以上の段落で使われている語とした。



# 分析書籍一覧

- 相原博之『キャラ化するニッポン』講談社現代新書、2007年
- 赤木智弘『若者を見殺しにする国』双風舎、2007年（朝日文庫版を使用）
- 赤坂真理『愛と暴力の戦後とその後』講談社現代新書、2014年
- 雨宮処凛『生きさせろ！』太田出版、2007年（ちくま文庫版を使用）
- 雨宮まみ『女子をこじらせて』ポット出版、2011年（幻冬舎文庫版を使用）
- 安西祐一郎『「デジタル脳」が日本を救う』講談社、2010年
- 新井紀子『AI vs. 教科書が読めない子どもたち』東洋経済新報社、2008年
- 浅羽通明『「反戦・脱原発レベル」はなぜ敗北するのか』ちくま新書、2016年
- 東浩紀『動物化するポストモダン』講談社現代新書、2001年 / 『一般意志 2.0』講談社、2011年 / 『ゲンロン0 観光客の哲学』ゲンロン、2017年
- 坂東真理子『女性の品格』PHP新書、2006年
- プレイディみかこ『THIS IS JAPAN』太田出版、2016年
- ちきりん『自分のアタマで考えよう』ダイヤモンド社、2011年 / 『未来の働き方を考えよう』文藝春秋、2013年
- カレー沢薫『やって何だ？』キノブックス、2018年
- 土井隆義『友だち地獄』ちくま新書、2008年
- 江原啓之『子どもが危ない！』集英社、2004年
- 円堂都司昭『ゼロ年代の論点』ソフトバンク新書、2011年
- 藤井巖喜『「国家」の逆襲』祥伝社新書、2016年
- 藤本一勇『批判感覚の再生』白澤社、2006年
- 藤本由香里『私の居場所はどこにあるの？』学陽書房、1998年（朝日文庫版を使用）
- 藤野英人『さらば、GG資本主義』光文社新書、2018年
- 福嶋麻衣子、いしたにまさき『日本の若者は不幸じゃない』ソフトバンク新書、2011年
- 藤田孝典『貧困世代』講談社現代新書、2016年
- 藤原正彦『国家の品格』新潮新書、2005年
- 藤原智美『検索バカ』朝日新書、2008年
- 深澤真紀『平成男子凶鑑』日経BP社、2007年（『草食男子世代』光文社知恵の森文庫版を使用）
- 福田和也『余は如何にしてナショナリストとなりし乎』光文社、2000年
- 古市憲寿『絶望の国の幸福な若者たち』講談社、2011年 / 『だから日本はズレている』新潮新書、2014年
- 古谷経衡『左翼も右翼もウソだらけ』新潮新書、2016年
- ケント・ギルバート『儒教に支配された中国人と韓国人の悲劇』講談社+α新書¥、2017年
- はあちゅう（伊藤春香）『恋愛炎上主義。』ポプラ社、2014年
- 原田曜平『近頃の若者はなぜダメなのか』光文社新書、2010年 / 『ヤンキー経済』幻冬舎新書、2014年
- 橋本努『ロスト近代』弘文堂、2012年
- 橋本治『バカになったか、日本人』集英社、2014年
- 波頭亮『若者のリアル』日本実業出版社、2003年
- 速水健朗『ケータイ小説的。』原書房、2008年 / 『自分探しが止まらない』ソフトバンク新書、2008年 / 『1995年』ちくま新書、2014年
- 速水由紀子『「つながり」という危うい快樂』筑摩書房、2006年
- 林秀彦『この国の終わり』成甲書房、2005年
- 辺見庸『単独発言』角川書店、2001年（角川文庫版を使用）
- 平田オリザ『下り坂をそろそろと下りる』講談社現代新書、2016年
- 広田照幸『《愛国心》のゆくえ』世織書房、2005年
- 本田透『電波男』三オブックス、2005年（講談社文庫版を使用）
- 本田由紀『多元化する「能力」と日本社会』NTT出版、2005年
- 堀有伸『日本的ナルシズムの罪』新潮新書、2016年

# 新・間違いだらけの論客選び

——計量テキスト分析による〈平成論壇〉の生態の解明（月刊テキストマイニングレポート Vol.20）

堀江貴文『新・資本論』宝島社新書、2009年

堀井憲一郎『若者殺しの時代』講談社現代新書、2012年 / 『やさしさをまとった殲滅の時代』講談社現代新書、2013年

堀越英美『不道德お母さん講座』河出書房新社、2018年

百田尚樹『大放言』新潮新書、2015年

兵頭新児『ぼくたちの女災社会』二見書房、2009年

イケダハヤト『年収150万で僕らは自由に生きていく』星海社新書、2012年 / 『新世代努力論』朝日新聞出版、2014年

池田整治『マインドコントロール』ビジネス社、2009年

井上達夫『リベラルのことは嫌いでも、リベラリズムは嫌いにならないでください』毎日新聞出版、2015年

井上トシユキ『2ちゃんねる宣言』文藝春秋、2001年（文春文庫PLUS版を使用）

石堂淑朗『「おやじ」の正論』PHP研究所、2006年

石原慎太郎『日本よ、完全自立を』文春新書、2018年

石川九楊『縦に書け！』祥伝社、2005年（祥伝社新書版を使用）

いつか『昭和の男』がなくなる日』主婦の友社新書、2011年

岩木秀夫『ゆとり教育から個性浪費社会へ』ちくま新書、2004年

岩村暢子『日本人には二種類いる』新潮新書、2013年

門脇厚司『子どもの社会力』岩波新書、1999年 / 『社会力を育てる』岩波新書、2010年

金村詩恩『私のエッジから覗いている風景』ぶなのもり、2017年

姜尚中『愛国の作法』朝日新書、2006年

櫻村愛子『ネオリベラリズムの精神分析』光文社新書、2007年

片田珠美『一億総ガキ社会』光文社新書、2010年

片山杜秀『平成精神史』幻冬舎新書、2018年

加藤典洋『敗戦後論』講談社、1997年（ちくま学芸文庫版を使用） / 『戦後入門』ちくま新書、2015年

河上亮一『学校崩壊』草思社、1999年

香山リカ『ココロに向かって耳をすまそう』ハヤカワ文庫、1998年 / 『多重化するリアル』廣済堂、2011年 / 『ブチナショナリズム症候群』中公新書ラクレ、2002年 / 『若者の法則』岩波新書、2002年 / 『〈私〉の愛国心』ちくま新書、2014年 / 『就職がこわい』講談社、2004年（講談社+α文庫版を使用） / 『生きづらい〈私〉たち』講談社現代新書、2004年 / 『〈雅子さま〉はあなたと一緒に泣いている』筑摩書房、2005年（ちくま文庫版を使用） / 『いまだきの〈常識〉』岩波新書、2005年 / 『テレビの罠』ちくま新書、2006年 / 『仕事でだけ「うつ病」になる人たち』（『なぜあの人は、仕事でだけ「うつ」になるのか』PHP文庫版を使用） / 『なぜ日本人は劣化したか』講談社現代新書、2007年 / 『私は若者が嫌いだ！』ベスト新書、2008年 / 『貧乏クジ世代』PHP新書、2008年 / 『悪いのは私じゃない症候群』ベスト新書、2009年 / 『〈不安な時代〉の精神病理』講談社現代新書、2011年 / 『3・11後の心を立て直す』ベスト新書、2011年 / 『世の中の意見が〈私〉と違うときに読む本』幻冬舎新書、2011年 / 『絆ストレス』青春新書 INTELLIGENCE、2012年 / 『独裁』入門』集英社新書、2012年 / 『若者のホンネ』朝日新書、2012年 / 『ソーシャルメディアの何が気持ち悪いのか』朝日新書、2014年 / 『弱者はもう救われないのか』幻冬舎新書、2014年 / 『劣化する日本人』ベスト新書、2014年 / 『半知性主義でいこう』朝日新書、2016年 / 『リベラルですが、何か？』イースト新書、2014年 / 『「発達障害」と言いたがる人たち』SB新書、2018年

KAZUYA『超日本人の時代』アイバース出版、2015年

木下ちがや『ポピュリズムと「民意」の政治学』大月書店、2017年

北田暁大『唾う日本の「ナショナリズム」』NHK ブックス、2004年

北原みのり『アンアのセックスでキレイになれた？』朝日新聞出版、2011年

小浜逸郎『やっぱりバカが増えている』洋泉社新書 y、2003年 / 『人はひとりでも生きていけるか』PHP 研究所、2010年

小谷野敦『すばらしき愚民社会』新潮社、2004年

熊代亨『ロスジェネ心理学』作品社、2012年

- 久徳重和『人間形成障害』祥伝社新書、2008年
- 李信恵『#鶴橋安寧』影書房、2015年
- 牧村朝子『ハッピーエンドに殺されない』青弓社、2017年
- マークス寿子『日本はなぜここまで壊れたのか』草思社、2006年
- 正村公宏『成熟社会への選択』NHK ブックス、1994年
- 正高信男『ケータイを持ったサル』中公新書、2013年
- 松谷創一郎『ギャルと不思議ちゃん論』原書房、2012年
- バオロ・マツァリアーノ『スタンダード 反社会学講座』イースト・プレス、2005年
- 御田寺圭『矛盾社会序説』イースト・プレス、2018年
- 三浦展『ファスト風土化する日本』洋泉社新書y、2004年 / 『下流社会』光文社新書、2005年 / 『かまやつ女の時代』牧野出版、2005年 (『平成女子図鑑』中公文庫版を使用) / 『女はなぜキャバクラ嬢になりたいのか?』光文社新書、2008年 / 『第四の消費』朝日新書、2012年
- 宮台真司『まぼろしの郊外』朝日新聞社、1997年 / 『日本の難点』幻冬舎新書、2009年 / 『私たちはどこから来て、どこへ行くのか』幻冬舎、2014年
- 宮本政於『お役所の掟』講談社、1994年
- 宮崎哲弥『正義の見方』洋泉社、1996年 (新潮 OH! 文庫版を使用)
- 森川嘉一郎『趣都の誕生』幻冬舎、2003年 (幻冬舎文庫版を使用)
- 森永卓郎『年収300万円時代を生き抜く経済学』光文社、2003年 (光文社知恵の森文庫版を使用)
- 森嶋通夫『日本はなぜ没落するか』岩波書店、1998年 (岩波現代文庫版を使用)
- 藻谷浩介『里山資本主義』角川 One テーマ21、2013年
- 毛利嘉孝『ストリートの思想』NHK ブックス、1998年
- 村上裕一『ネトウヨ化する日本』角川EPUB 選書、2016年
- 永田夏来『生涯未婚時代』イースト新書、2017年
- 永山彦三郎『現場から見た教育改革』ちくま新書、2002年
- 中川淳一郎『ウェブはバカと暇人のもの』光文社新書、2009年 / 『ウェブを炎上させるイタイ人たち』宝島社新書、2010年 / 『バカざんまい』新潮新書、2015年
- 中島義道『醜い日本の私』新潮選書、2006年
- 中谷巖『資本主義はなぜ自壊したのか』集英社、2008年 (集英社文庫版を使用)
- 難波功士『大二病』双葉社新書、2014年
- 荷宮和子『なぜフェミニズムは没落したのか』中公新書ラクレ、2004年 / 『バリバリのハト派』晶文社、2014年
- 蛭川真夫『ネットの炎上力』文春新書、2010年
- 楡周平『衆愚の時代』新潮新書、2010年
- 西部邁『国民の道徳』扶桑社、2000年 / 『保守の真髄』講談社現代新書、2017年
- 西田亮介『不寛容の本質』経済界新書、2017年
- 野田正彰『この社会の歪みについて』KTC 中央出版、2005年
- 野口悠紀雄『1940年体制』東洋経済新報社、1995年
- 野間易通『実録・レイシストをしばき隊』河出書房新社、2018年
- 小川榮太郎『約束の日』幻冬舎、2012年 / 『『永遠の0』と日本人』幻冬舎新書、2014年
- 小川たまか『『ほとんどない』ことにされている側から見た社会の話を。』タバックス、2018年
- 尾木直樹『子どもの危機をどう見るか』岩波新書、2000年 / 『思春期の危機をどう見るか』岩波新書、2006年
- 小熊英二『社会を変えるには』講談社現代新書、2014年
- 小原信『iモード社会の「われとわれわれ」』中公叢書、2002年
- 大堀ユリエ『昭和脳上司がゆとり世代部下を働かせる方法77』光文社、2012年
- 岡田憲治『言葉が足りないとサルになる』亜紀書房、2009年
- 岡田斗司夫『ぼくたちの洗脳社会』朝日新聞社、1995年 / 『オタクはすでに死んでいる』新潮新書2008年
- 奥田愛基『変える』河出書房新社、2016年

# 新・間違いだらけの論客選び

——計量テキスト分析による〈平成論壇〉の生態の解明（月刊テキストマイニングレポート Vol.20）

大澤真幸『虚構の時代の果て』ちくま新書、1996年（ちくま学芸文庫版を使用）／『不可能性の時代』岩波新書、2008年

pha『二つの歩き方』技術評論社、2012年

ロマン優光『間違ったサブカルで「マウンティング」してくるすべてのクズどもに』コアマガジン新書、2016年

rootport『失敗すれば即終了！日本の若者がとるべき生存戦略』晶文社、2016年

さだまさし『本気で言いたいことがある』新潮新書、2006年

佐伯啓思『日本の宿命』新潮新書、2013年

税所篤快『ゆとり世代の愛国心』PHP新書、2014年

斎藤貴男『機会不平等』文藝春秋、2000年（岩波現代文庫版を使用）／『安心のファシズム』岩波新書、2004年／『日本が壊れていく』ちくま新書、2018年

齋藤孝『日本人の心はなぜ強かったのか』PHP新書、2011年

斎藤環『ひきこもり文化論』紀伊國屋書店、2003年（ちくま学芸文庫版を使用）／『世界が土曜の夜の夢なら』角川書店、2012年

酒井順子『負け犬の遠吠え』講談社、2003年（講談社文庫版を使用）

酒井信『平成人（フラット・アダルト）』文春新書、2008年

榎原英資『日本は没落する』朝日新聞社、2007年

櫻井よしこ『日本の危機』新潮社、1998年（新潮文庫版を使用）／『論戦1999』／『論戦2000』／『日本よ、なぜ動かない 論戦2001』／『変わるのは今しかない 論戦2002』／『明日への道を拓け 論戦2003』／『このまま滅ぶな、日本 論戦2004』／『国、売りたもうことなかれ 論戦2005』／『この国をなぜ愛せないのか 論戦2006』／『日本よ、動き国となれ 論戦2007』／『いまこそ国益を問え 論戦2008』／『櫻井よしこの愛国 論戦2009』／『日本を愛すればこそ、警鐘を鳴らす 論戦2010』／『国難に克つ 論戦2011』／『甦れ、日本 論戦2012』／『櫻井よしこの日本再興 論戦2013』／『日本国の復権 論戦2014』／『戦後七〇年 国家の岐路 論戦2015』／『凜たる国家へ 日本よ、決意せよ 論戦2016』／『頼るな、備えよ 論戦2017』（『論戦』シリーズはすべてダイヤモンド社）

佐野真一『東電OL症候群』新潮社、2001年（新潮文庫版を使用）／『この国の品質』ビジネス社、2007年

佐々木俊尚『21世紀の自由論』NHK出版新書、2015年

佐藤俊樹『不平等社会日本』中公新書、2000年

佐藤芳直『なぜ世界は日本化するのか』扶桑社、2017年

勢古浩爾『まれに見るバカ』洋泉社新書y、2002年

白井聡『永続敗戦論』太田出版、2013年

白岩玄『R30の欲望スイッチ』宣伝会議、2014年

想田和弘『熱狂なきファシズム』河出書房新社、2014年

杉田俊介『フリーターにとって「自由」とは何か』人文書房、2005年／『非モテの品格』集英社新書、2016年

杉浦由美子『腐女子化する世界』中公新書ラクレ、2006年

杉山幸丸『進化しすぎた日本人』中公新書ラクレ、2005年

諏訪哲二『オレ様化する子どもたち』中公新書ラクレ、2004年

鈴木弘輝『生きる希望を忘れた若者たち』講談社現代新書、2010年

鈴木謙介『カーニヴァル化する社会』講談社現代新書、2005年／『サブカル・ニッポンの新自由主義』ちくま新書、2008年／『ウェブ社会のゆくえ』NHKブックス、2013年

鈴木孝夫『日本人の感性が世界を変える』新潮選書、2014年

橘玲『日本人』幻冬舎、2012年（幻冬舎文庫版を使用）

立木信（「トラスト立木」名義）『この国の経済常識はウソばかり』洋泉社新書y、2008年

高田明典『ネットが社会を破壊する』リーダーズノート、2013年

高原基彰『不安型ナショナリズムの時代』洋泉社新書y、2007年

高橋源一郎『ぼくらの民主主義なんだぜ』朝日新書、2015年

高村薫『作家的覚書』岩波新書、2017年

竹田恒泰『日本人はいつから日本が好きになったのか』PHP新書、2013年

- 武田砂鉄『紋切型社会』朝日出版社、2015年
- 田北百樹子『シュガー社員が会社を溶かす』ブクマン社、2007年
- 水無田気流（田中理恵子）『黒山もここ、抜けたら荒野』光文社新書、2008年 / 『無頼化する女たち』洋泉社新書 y、2009年
- 田中英道『日本人が知らない日本の道徳』ビジネス社、2016年
- 谷本真由美『日本が世界一「貧しい」国である件について』祥伝社、2013年 / 『日本に殺されず幸せに生きる方法』あざ出版、2013年
- 適菜収『日本をダメにしたB層の研究』講談社、2012年
- 寺島実郎『われら戦後世代の「坂の上の雲」』PHP新書、2006年
- 寺脇研『動き始めた教育改革』主婦の友社、1997年 / 『何処へ向かう教育改革』主婦の友社、1998年 / 『さらば ゆとり教育』光文社ペーパーバック、2008年 / 『バマス計算でバカになる』光文社ペーパーバック、2009年 / 『「フクシマ後」の生き方は若者に聞け』主婦の友社、2012年 / 『教育の国家支配がすすむ』青灯社、2017年
- 柘植智幸『「ゆとり教育世代」の恐怖』PHPペーパーバック、2008年
- 常見陽平『僕たちはガンダムのジムである』ヴィレッジブックス、2012年（日経ビジネス人文庫版を使用）
- 内田樹『下流志向』講談社、2007年（講談社文庫版を使用） / 『日本辺境論』新潮新書、2009年
- 上野千鶴子『サヨナラ、学校化社会』太田次郎社、2000年（ちくま文庫版を使用） / 『女ざらい』紀伊國屋書店、2010年
- 宇野重規『〈私〉時代のデモクラシー』岩波新書、2010年
- 宇野常寛『ゼロ年代の想像力』早川書房、2008年（ハヤカワ文庫版を使用） / 『リトル・ピープルの時代』幻冬舎、2011年（幻冬舎文庫版を使用） / 『母性のディストピア』集英社、2017年
- 宇佐美典也『肩書き捨てたら地獄だった』中公新書ラクレ、2014年
- 牛窪恵『おゆとりさま消費』アスキー新書、2010年
- 和田秀樹『シゾフレ日本人』ロングセラーズ、1994年（『自分がない症候群』の恐怖）PHP文庫版を使用） / 『学力崩壊』PHP研究所、1999年（PHP文庫版を使用） / 『和田秀樹の憲法改正論』原書房、2007年 / 『テレビの大罪』新潮新書、2010年 / 『この国の冷たさの正体』朝日新書、2016年 / 『私の保守宣言』WAC、2017年
- 渡部昇一『知っておくべき日本人の底力』海電社、2008年（『決定版 日本人論』扶桑社新書版を使用）
- 渡辺恒雄『反ポピュリズム』新潮新書、2012年
- 八木秀次『反「人権」宣言』ちくま新書、2002年
- 柳沼良太『ポストモダンの自由管理教育』春風社、2010年
- 山田昌弘『結婚の社会学』丸善ライブラリー、1996年 / 『パラサイト・シングルの時代』ちくま新書、1999年 / 『パラサイト社会のゆくえ』ちくま新書、2004年 / 『希望格差社会』筑摩書房、2004年（ちくま文庫版を使用） / 『新平等社会』文藝春秋、2006年（文春文庫版を使用） / 『少子社会日本』岩波新書、2007年 / 『なぜ若者は保守化するのか』東洋経済新報社、2009年（『なぜ若者は保守化したのか』朝日文庫版を使用） / 『家族難民』朝日新聞出版、2014年（朝日文庫版を使用）
- 山口真由『リベラルという病』新潮新書、2017年
- 山崎雅弘『戦前回帰』学習研究社、2015年
- 柳田邦男『壊れる日本人』新潮社、2005年（新潮文庫版を使用）
- 安富歩『原発危機と東大話話』明石書店、2012年
- 與那覇潤『中国化する日本』（文春文庫版を使用）
- 米田智彦『デジタルデトックスのすすめ』PHP研究所、2014年
- 柳美里『仮面の国』新潮社、1998年（新潮文庫版を使用） / 『国家への道順』河出書房新社、2017年

# 新・間違いだらけの論客選び

——計量テキスト分析による〈平成論議〉の生態の解明 (月刊テキストマイニングレポート Vol.20)

名目	5,174	3,120	7,677	1,904	1,644	1,418	1,270	1,099	747	964
社会	43,356	3,106	2,986	1,983	1,983	1,417	1,261	1,099	動機	964
自分	36,659	4,860	2,997	1,983	1,641	1,415	1,261	1,096	必然	964
世界	19,115	3,072	2,970	1,974	1,641	1,414	1,260	1,085	実装	961
主観	4,738	3,045	2,970	1,966	1,634	1,413	1,257	1,080	老人	961
人間	18,232	3,041	2,956	1,955	1,627	1,411	1,245	1,078	モノ	958
子ども	16,700	2,992	2,949	1,925	1,624	1,411	1,244	1,078	意識	958
時代	16,928	2,945	2,945	1,949	1,619	1,405	1,231	1,075	女性	956
経済	4,508	2,944	2,944	1,947	1,609	1,405	1,230	1,073	余白	956
政治	13,620	2,925	2,925	1,941	1,599	1,399	1,228	1,069	割合	951
女性	13,102	2,908	2,908	1,940	1,596	1,399	1,222	1,069	割合	950
言葉	11,534	2,903	2,903	1,936	1,593	1,399	1,222	1,063	女性	950
若者	11,485	2,884	2,884	1,912	1,591	1,399	1,207	1,063	主婦	948
学校	10,477	2,875	2,875	1,889	1,591	1,390	1,206	1,063	主婦	948
国民	10,065	2,864	2,864	1,883	1,580	1,388	1,203	1,060	選挙	943
国家	9,804	2,861	2,861	1,876	1,580	1,388	1,203	1,060	選挙	942
日本人	9,313	2,851	2,851	1,875	1,575	1,385	1,199	1,046	中学生	941
世代	9,388	2,849	2,849	1,867	1,575	1,385	1,199	1,046	中学生	941
現実	9,237	2,827	2,827	1,862	1,572	1,383	1,191	1,043	実装	939
出来	4,142	2,820	2,820	1,862	1,572	1,383	1,191	1,043	実装	939
情報	4,087	2,814	2,814	1,859	1,564	1,380	1,186	1,042	実装	938
企業	4,030	2,835	2,835	1,857	1,559	1,378	1,185	1,038	風潮	938
自己	8,880	2,833	2,833	1,848	1,549	1,378	1,184	1,034	風潮	937
就職	3,973	2,814	2,814	1,833	1,548	1,377	1,182	1,034	風潮	937
人々	8,681	2,809	2,809	1,829	1,544	1,371	1,181	1,031	西洋	936
大学	8,226	2,788	2,788	1,824	1,543	1,365	1,176	1,028	論文	933
文化	7,991	2,737	2,737	1,811	1,543	1,356	1,166	1,028	論文	929
租人	7,991	2,719	2,719	1,808	1,535	1,351	1,165	1,024	遊び	928
歴史	7,986	2,714	2,714	1,807	1,535	1,348	1,161	1,018	医学	926
教師	7,598	2,702	2,702	1,795	1,534	1,346	1,160	1,018	出来事	924
政府	7,596	2,693	2,693	1,795	1,525	1,342	1,157	1,012	出来事	924
精神	7,004	2,686	2,686	1,776	1,517	1,335	1,157	1,004	暮らし	917
男性	7,115	2,685	2,685	1,775	1,517	1,335	1,157	1,004	暮らし	916
状況	7,039	2,672	2,672	1,772	1,505	1,334	1,157	999	暮らし	916
状況	6,662	2,672	2,672	1,772	1,505	1,334	1,157	999	暮らし	916
会社	7,002	2,654	2,654	1,760	1,496	1,324	1,148	996	医師	914
一社	6,880	2,648	2,648	1,750	1,495	1,317	1,146	996	医師	914
事件	6,855	2,643	2,643	1,749	1,491	1,317	1,146	993	センター	913
ネット	6,701	2,627	2,627	1,742	1,490	1,316	1,144	990	選挙	913
理由	6,662	2,602	2,602	1,740	1,489	1,306	1,140	987	選挙	913
相手	6,661	2,596	2,596	1,740	1,482	1,306	1,140	985	選挙	913
能力	5,968	2,581	2,581	1,715	1,478	1,295	1,139	981	選挙	915
責任	5,817	2,566	2,566	1,714	1,466	1,295	1,138	981	選挙	915
自身	5,782	2,549	2,549	1,707	1,464	1,289	1,134	978	選挙	915
学生	5,710	2,534	2,534	1,700	1,446	1,288	1,131	977	選挙	914
制度	5,599	2,525	2,525	1,699	1,443	1,288	1,130	977	選挙	914
子供	5,597	2,498	2,498	1,696	1,443	1,286	1,127	976	選挙	914
子供	5,557	2,488	2,488	1,696	1,439	1,281	1,120	976	選挙	914
現代	5,441	2,475	2,475	1,688	1,436	1,277	1,117	973	選挙	914
現代	5,385	2,470	2,470	1,688	1,433	1,277	1,117	972	選挙	914
政策	5,340	2,434	2,434	1,682	1,424	1,272	1,112	969	選挙	914
憲法	5,214	2,426	2,426	1,663	1,421	1,270	1,106	969	選挙	914



# 新・間違いだらけの論客選び

—計量テキスト分析による〈平成論壇〉の生態の解明（月刊テキストマイニングレポート Vol.20）

副題可能	あいだ	1,202	詳しい	1,017	屏	3,798	登	1,213
今	彼	1,170	詳しい	1,001	形	3,692	体	1,127
時	八月	1,138	多い	958	迄	3,622	壁	1,066
多く	9,005	1,157	詳しい	859	世	3,523	真	1,050
場合	3,948	1,151	重い	812	家	3,462	脚	985
結果	8,445	1,136	詳しい	802	姿	3,355	足	979
いま	8,020	1,129			別	3,222	耳	974
現在	7,511	1,092	副題		場	3,105	公	960
期間	6,638	1,078	副題	5,795	例	3,055	水	954
すべて	6,624	1,041	当然	4,015	身	2,933	右	944
継続	6,393	1,072	少し	3,596	又	2,866	車	932
当時	6,249	1,072	本当に	3,488	誰	2,618	書	931
事実	5,638	1,006	同時に	3,146	下	2,501	買	903
全体	4,982	999	置も	3,121	母	2,464	又	898
ひとつ	4,163	984	料に	2,725	道	2,362	文	888
自ら	4,162	951	決して	2,266	季	2,299	中	895
以降	3,564	923	少なくとも	2,006	類	2,262	会	868
その後	3,420	861	初めて	1,886	父	2,127	機	841
それ	3,254	846	必ず	1,687	大	2,088	層	835
確認	2,991	807	常に	1,631	口	2,074	風	829
それぞれ	2,854	807	全く	1,496	朝	2,070	車	804
明前	2,857		形勢		車に	2,059		
一部	2,857	10,659	多い	11,09	数	1,995		
絶対	2,784	7,530	突然	10,77	様	1,973		
以前	2,775	7,379	著するに	10,77	外	1,969		
以後	2,666	6,046	必ずしも	10,68	外	1,819		
過去	2,586	5,926	極めて	10,33	半	1,804		
結局	2,542	5,197	次々	951	限	1,804		
今日	2,520	4,721	ある程度	942	種	1,790		
昔	2,514	4,448	実に	842	愛	1,753		
ほか	2,388	3,257	別に	826	妻	1,687		
たくさん	2,257	2,872	同じく	814	指	1,660		
本著	2,221	2,801			生	1,644		
はじめ	2,110	2,698	名詞C		上	1,631		
多	2,022	2,606	人	42,945	金	1,572		
今回	2,024	2,204	国	10,419	飯	1,570		
直接	1,898	1,861	画	8,242	版	1,510		
後半	1,861	2,170	女	74,168	店	1,458		
一番	1,791	1,853	男	68,13	大	1,447		
読者	1,739	1,820	心	5,951	校	1,431		
一月	1,657	1,758	力	5,926	交	1,426		
二月	1,627	1,601	目	5,758	園	1,393		
今般	1,598	1,492	本	5,624	月	1,368		
近く	1,462	1,324	字	5,269	法	1,362		
美しい	1,446	1,302	手	51,84	妻	1,333		
三月	1,335	1,179	先	4,527	命	1,313		
四月	1,305	1,120	次	4,366	女	1,258		
六月	1,248	1,111	間	4,263	面	1,247		
九月	1,204							



# 分析結果

及び各クラスターのレビュー

# 新・間違いだらけの論客選び

—計量テキスト分析による〈平成論壇〉の生態の解明（月刊テキストマイニングレポート Vol.20）

## 目次

---

まえがき .....	4
分析の概要 .....	6
クラスター 01 —— 「教育」をめぐる論客の呉越同舟 .....	26
寺脇研『動き始めた教育改革』/寺脇研『何処へ向かう教育改革』/尾木直樹『子どもの危機をどう見るか』/尾木直樹『思春期の危機をどう見るか』/和田秀樹『学力崩壊』/河上亮一『学校崩壊』/永山彦三郎『現場から見た教育改革』/諏訪哲二『オレ様化する子どもたち』	
クラスター 02 —— 教育言説は「抵抗」から「対策」へ? .....	28
寺脇研『さらば ゆとり教育』/岩木秀夫『ゆとり教育から個性浪費社会へ』/柘植智幸『「ゆとり教育世代」の恐怖』/寺脇研『教育の国家支配がすすむ』/柳沼良太『ポストモダンの自由管理教育』/斎藤貴男『機会不平等』/広田照幸『《愛国心》のゆくえ』	
クラスター 03 —— 現代思想とオタク .....	30
東浩紀『動物化するポストモダン』/本田透『電波男』/森川嘉一郎『趣都の誕生』/岡田斗司夫『オタクはすでに死んでいる』	
クラスター 04 —— 社会を語りたがるオタク言説 .....	32
村上裕一『ネトウヨ化する日本』/北田暁大『喰う日本の「ナショナリズム」』/円堂都司昭『ゼロ年代の論点』/井上トシユキ『2ちゃんねるの宣言』	
クラスター 05 —— 大澤真幸という論客 .....	33
大澤真幸『不可能性の時代』/大澤真幸『虚構の時代の果て』	
クラスター 06 —— 宇野常寛と、マーケティングに飲み込まれるオタク言説 .....	34
宇野常寛『リトル・ピープルの時代』/相原博之『キャラ化するニッポン』/宇野常寛『ゼロ年代の想像力』/宇野常寛『母性のディストピア』	
クラスター 07 —— フェミニズムと女性の現在 .....	36
雨宮まみ『女子をこじらせて』/カレー沢薫『女って何だ?』/藤本由香里『私の居場所はどこにあるの?』/北原みのり『アンアのセックスでキレイになれた?』/荷宮和子『なぜフェミニズムは没落したのか』/上野千鶴子『女ざらい』	
クラスター 08 —— 「ヤンキー」をめぐる言説と「批評」の連続性 .....	38

速水健朗『ケータイ小説的。』/ 原田曜平『ヤンキー経済』/ 斎藤環『世界が土曜の夜の夢なら』

クラスター 09 —— 「女叩き」のマーケティング言説 ..... 39

三浦展『下流社会』/ 兵頭新児『ぼくたちの女災社会』/ 三浦展『女はなぜキャバクラ嬢になりたいのか?』/ 三浦展『平成女子凶鑑』/ 杉浦由美子『腐女子化する世界』/ 水無田気流『無頼化する女たち』

クラスター 10 —— 少子化する日本の形? ..... 41

rootport『失敗すれば即終了! 日本の若者がとるべき生存戦略』/ 岩村暢子『日本人には二種類いる』/ 堀越英美『不道德お母さん講座』

クラスター 11 —— 愚痴? ..... 42

勢古浩爾『まれに見るバカ』/ ロマン優光『間違ったサブカルで「マウンティング」してくるすべてのクズどもに』/ 酒井順子『負け犬の遠吠え』

クラスター 12 —— 2000 年代以降の文化論とマーケティング ..... 44

牛窪恵『おゆとりさま消費』/ 堀井憲一郎『やさしさをまとった殲滅の時代』/ 深澤真紀『草食男子世代』/ 堀井憲一郎『若者殺しの時代』/ 松谷創一郎『ギャルと不思議ちゃん論』/ 宮台真司『まぼろしの郊外』

クラスター 13 —— 精神科医が見た (診た?) 社会 ..... 46

和田秀樹『この国の冷たさの正体』/ 野田正彰『この社会の歪みについて』/ 香山リカ『多重化するリアル』/ 香山リカ『なぜ日本人は劣化したか』/ 香山リカ『ココロに向かって耳をすまそう』/ 香山リカ『ぶちナショナリズム症候群』/ 香山リカ『〈私〉の愛国心』/ 香山リカ『生きづらい〈私〉たち』/ 香山リカ『いまどきの〈常識〉』/ 香山リカ『世の中の意見が〈私〉と違うときに読む本』/ 香山リカ『3・11 後の心を立て直す』/ 香山リカ『「独裁」入門』/ 香山リカ『弱者はもう救われないのか』/ 香山リカ『劣化する日本人』

クラスター 14 —— エッセイ的若者論の世界 ..... 50

大堀ユリエ『昭和脳上司がゆとり世代部下を働かせる方法 77』/ 熊代亨『ロスジェネ心理学』/ いつか『「昭和の男」がなくなる日』/ 福嶋麻衣子、いしたにまさき『日本の若者は不幸じゃない』/ 小川たまか『「ほとんどない」ことにされている側から見た社会の話を。』/ 白岩玄『R30の欲望スイッチ』/ 坂東眞理子『女性の品格』/ はあちゅう『恋愛炎上主義。』/ 牧村朝子『ハッピーエンドに殺されない』/ 香山リカ『貧乏クジ世代』/ 香山リカ『絆ストレス』/ 香山リカ『若者のホンネ』

クラスター 15 —— インターネットと社会 ..... 53

中川淳一郎『ウェブはバカと暇人のもの』/ 高田明典『ネットが社会を破壊する』/ 米田智彦『デジタルデトックスのすすめ』/ 蜷川真夫『ネットの炎上力』/ 香山リカ『ソーシャルメディアの何が気持ち悪いのか』/ 中川淳一郎『ウェブを炎上させるイタイ人たち』

# 新・間違いだらけの論客選び

—計量テキスト分析による〈平成論壇〉の生態の解明（月刊テキストマイニングレポート Vol.20）

クラスター 16 — 民族的マイノリティとして生きる .....	55
柳美里『国家への道順』/ 金村詩恩『私のエッジから観ている風景』/ 李信恵『#鶴橋安寧』	
クラスター 17 — 運動で社会を変える（浅羽、お前は帰れ） .....	56
奥田愛基『変える』/ 浅羽通明『「反戦・脱原発リベラル」はなぜ敗北するのか』/ 野間易通『実録・レイシストをしばき隊』	
クラスター 18 — 「バリバリのハト派」 # とは .....	58
柳美里『仮面の国』/ 櫻井よしこ『日本の危機』/ 荷宮和子『バリバリのハト派』/ 石堂淑朗『「おやじ」の正論』/ 山口真由『リベラルという病』/ 佐野真一『東電OL 症候群』	
クラスター 19 — 典型的劣化言説なのか、違うのか .....	60
ブレイディみかこ『THIS IS JAPAN』/ 百田尚樹『大放言』/ 中川淳一郎『バカぞんまい』/ 武田砂鉄『紋切型社会』/ 小谷野敦『すばらしき愚民社会』/ 岡田憲治『言葉が足りないとサルになる』/ 藤原智美『検索バカ』/ 石川九楊『縦に書け!』/ 宮本政於『お役所の掟』/ 中島義道『醜い日本の私』/ さだまさし『本気で言いたいことがある』/ 香山リカ『半知性主義でいこう』/ 香山リカ『リベラルですが、何か?』	
クラスター 20 — 結婚と少子化から日本を考える .....	63
山田昌弘『結婚の社会学』/ 山田昌弘『少子社会日本』/ 永田夏来『生涯未婚時代』/ 香山リカ『〈雅子さま〉はあなたと一緒に泣いている』	
クラスター 21 — 山田昌弘という論客 .....	65
山田昌弘『パラサイト社会のゆくえ』/ 山田昌弘『新平等社会』/ 山田昌弘『なぜ若者は保守化したのか』/ 山田昌弘『家族難民』/ 山田昌弘『パラサイト・シングル時代』/ 山田昌弘『希望格差社会』	
クラスター 22 — 香山リカという論客（現代社会批判サイド） .....	67
香山リカ『悪いのは私じゃない症候群』/ 香山リカ『〈不安な時代〉の精神病理』/ 香山リカ『なぜあの人は、仕事でだけ「うつ」になるのか』	
クラスター 23 — 精神科医による現代社会批判、ないし文化論 .....	68
斎藤環『ひきこもり文化論』/ 和田秀樹『シゾフレ日本人』/ 香山リカ『「発達障害」と言いたがる人たち』/ 久徳重和『人間形成障害』	
クラスター 24 — 社会評論における精神科医、社会学者、現代思想 .....	70
堀有伸『日本的ナルシズムの罪』/ 鈴木謙介『ウェブ社会のゆくえ』/ 土井隆義『友だち地獄』/ 齋藤孝『日本人の心はなぜ強かったのか』/ 片田珠美『一億総ガキ社会』/ 小原信『iモード社会の「われとわれわれ」』/ 鈴木弘輝『生きる希望を忘れた若者たち』/ 御田寺圭『矛盾社会序説』/ 杉田俊介『非モテの品格』	

クラスター 25 ——教育と子育ての現在.....	72
門脇厚司『子どもの社会力』/門脇厚司『社会力を育てる』/本田由紀『多元化する「能力」と日本社会』	
クラスター 26 ——THE 劣化言説.....	74
上野千鶴子『サヨナラ、学校化社会』/マックス寿子『日本はなぜここまで壊れたのか』/水無田気流『黒山もこもこ、抜けたら荒野』/赤木智弘『若者を見殺しにする国』/柳田邦男『壊れる日本人』/江原啓之『子どもが危ない!』/正高信男『ケータイを持ったサル』/杉山幸丸『進化しすぎた日本人』/内田樹『下流志向』	
クラスター 27 ——「新しい生き方・働き方」百花繚乱.....	76
田北百樹子『シュガー社員が会社を溶かす』/イケダハヤト『年収150万で僕らは自由に生きていく』/谷本真由美『日本が世界一「貧しい」国である件について』/岡田斗司夫『ぼくたちの洗脳社会』/堀江貴文『新・資本論』/pha『ニートの歩き方』/宇佐美典也『肩書き捨てたら地獄だった』/森永卓郎『年収300万円時代を生き抜く経済学』/藤野英人『さらば、GG資本主義』/楡原平『衆愚の時代』/常見陽平『僕たちはガンダムのジムである』/ちきりん『未来の働き方を考えよう』/イケダハヤト『新世代努力論』/谷本真由美『日本に殺されず幸せに生きる方法』	
クラスター 28 ——労働運動・思想の立場から.....	80
雨宮処凜『生きさせろ!』/杉田俊介『フリーターにとって「自由」とは何か』/速水健朗『自分探しが止まらない』	
クラスター 29 ——若者論というもの.....	82
古市憲寿『絶望の国の幸福な若者たち』/難波功士『大二病』/波頭亮『若者のリアル』/藤田孝典『貧困世代』/香山リカ『若者の法則』/香山リカ『就職がこわい』/香山リカ『私は若者が嫌いだ!』/古市憲寿『だから日本はズレている』/原田曜平『近頃の若者はなぜダメなのか』	
クラスター 30 ——同じようなコラムを量産する程度の能力?.....	84
櫻井よしこ『国、売りたいもうことなかれ 論戦2005』/櫻井よしこ『この国をなぜ愛せないのか 論戦2006』/櫻井よしこ『日本よ、勁き国となれ 論戦2007』/櫻井よしこ『いまこそ国益を問え 論戦2008』/櫻井よしこ『櫻井よしこの憂国 論戦2009』/櫻井よしこ『日本を愛すればこそ、警鐘を鳴らす 論戦2010』/櫻井よしこ『国難に克つ 論戦2011』/櫻井よしこ『甦れ、日本 論戦2012』/櫻井よしこ『櫻井よしこの日本再興 論戦2013』/櫻井よしこ『日本国の復権 論戦2014』/櫻井よしこ『戦後七〇年 国家の岐路 論戦2015』/櫻井よしこ『凜たる国家へ 日本よ、決意せよ 論戦2016』/櫻井よしこ『頼るな、備えよ 論戦2017』	
クラスター 31 ——櫻井よしこという論客.....	88

# 新・間違いだらけの論客選

—計量テキスト分析による〈平成論壇〉の生態の解明（月刊テキストマイニングレポート Vol.20）

櫻井よしこ『論戦1999』／櫻井よしこ『論戦2000』／櫻井よしこ『日本よ、なぜ動かない 論戦2001』／櫻井よしこ『変わるのは今しかない 論戦2002』／櫻井よしこ『明日への道を拓け 論戦2003』／櫻井よしこ『このまま減ぶな、日本 論戦2004』

## クラスター 32 —歴史系言説の世界..... 90

加藤典洋『戦後入門』／白井聡『永続敗戦論』／加藤典洋『敗戦後論』／寺島実郎『われら戦後世代の「坂上の雲」』／辺見庸『単独発言』

## クラスター 33 —現代「保守」論壇事情..... 92

赤坂真理『愛と暴力の戦後とその後』／佐伯啓思『日本の宿命』／竹田恒泰『日本人はいつから日本が好きになったのか』／渡部昇一『決定版 日本人論』／山崎雅弘『戦前回帰』／林彦彦『この国の終わり』／森嶋通夫『日本はなぜ没落するか』／藤原正彦『国家の品格』／ケント・ギルバート『儒教に支配された中国人と韓国人の悲劇』／池田整治『マインドコントロール』／内田樹『日本辺境論』／田中英道『日本人が知らない日本の道徳』／石原慎太郎『日本よ、完全自立を』／片山杜秀『平成精神史』／KAZUYA『超日本人の時代』／小川榮太郎『『永遠の0』と日本人』／佐藤芳直『なぜ世界は日本化するのか』／鈴木孝夫『日本人の感性が世界を変える』／和田秀樹『私の保守宣言』

## クラスター 34 —現代思想をめぐる呉越同舟..... 97

福田和也『余は如何にしてナショナリストとなりし乎』／八木秀次『反「人権」宣言』／小浜逸郎『人はひとりで生きていけるか』／姜尚中『愛国の作法』／西部邁『国民の道徳』／藤本一勇『批判感覚の再生』／井上達夫『リベラルのことは嫌いでも、リベラリズムは嫌いにならないでください』／小浜逸郎『やっぱりバカが増えている』／宮崎哲弥『正義の見方』／西部邁『保守の真髄』

## クラスター 35 —サブカルでない「批評」の側面..... 100

小熊英二『社会を変えるには』／佐々木俊尚『21世紀の自由論』／橋玲『（日本人）』／與那覇潤『中国化する日本』／鈴木謙介『サブカル・ニッポンの新自由主義』／中谷巖『資本主義はなぜ自壊したのか』／橋本努『ロスト近代』／木下ちがや『ポピュリズムと「民意」の政治学』／毛利嘉孝『ストリートの思想』／高原基彰『不安型ナショナリズムの時代』

## クラスター 36 —宮台社会学は現代思想なのか？..... 103

宮台真司『私たちはどこから来て、どこへ行くのか』／東浩紀『一般意志 2.0』／鈴木謙介『カーニヴァル化する社会』／東浩紀『ゲンロン0 観光客の哲学』／宮台真司『日本の難点』／櫻村愛子『ネオリベラリズムの精神分析』／斎藤貴男『安心のファシズム』／宇野重規『〈私〉時代のデモクラシー』

## クラスター 37 —当たり障りのない？ 憂国エッセイ..... 106

寺脇研『「フクシマ後」の生き方は若者に聞け』／橋本治『バカになったか、日本人』／想田

和弘『熱狂なきファシズム』/高橋源一郎『ぼくらの民主主義なんだぜ』/高村薫『作家的覚書』  
/安富歩『原発危機と東大話法』

クラスター 38 ——劣化言説に基づく政治評論..... 108

古谷経衡『左翼も右翼もウンだらけ』/速水健朗『1995年』/渡辺恒雄『反ポピュリズム』  
/小川榮太郎『約束の日』/斎藤貴男『日本が壊れていく』/適菜収『日本をダメにしたB  
層の研究』/和田秀樹『和田秀樹の憲法改正論』/和田秀樹『テレビの大罪』/香山リカ『テ  
レビの罨』

クラスター 39 ——政治を考える..... 110

藻谷浩介『里山資本主義』/藤井厳喜『「国家」の逆襲』/正村公宏『成熟社会への選択』/  
野口悠紀雄『1940年体制』/榊原英資『日本は没落する』/立木信『この国の経済常識  
はウンばかり』

クラスター 40 ——ごった煮..... 112

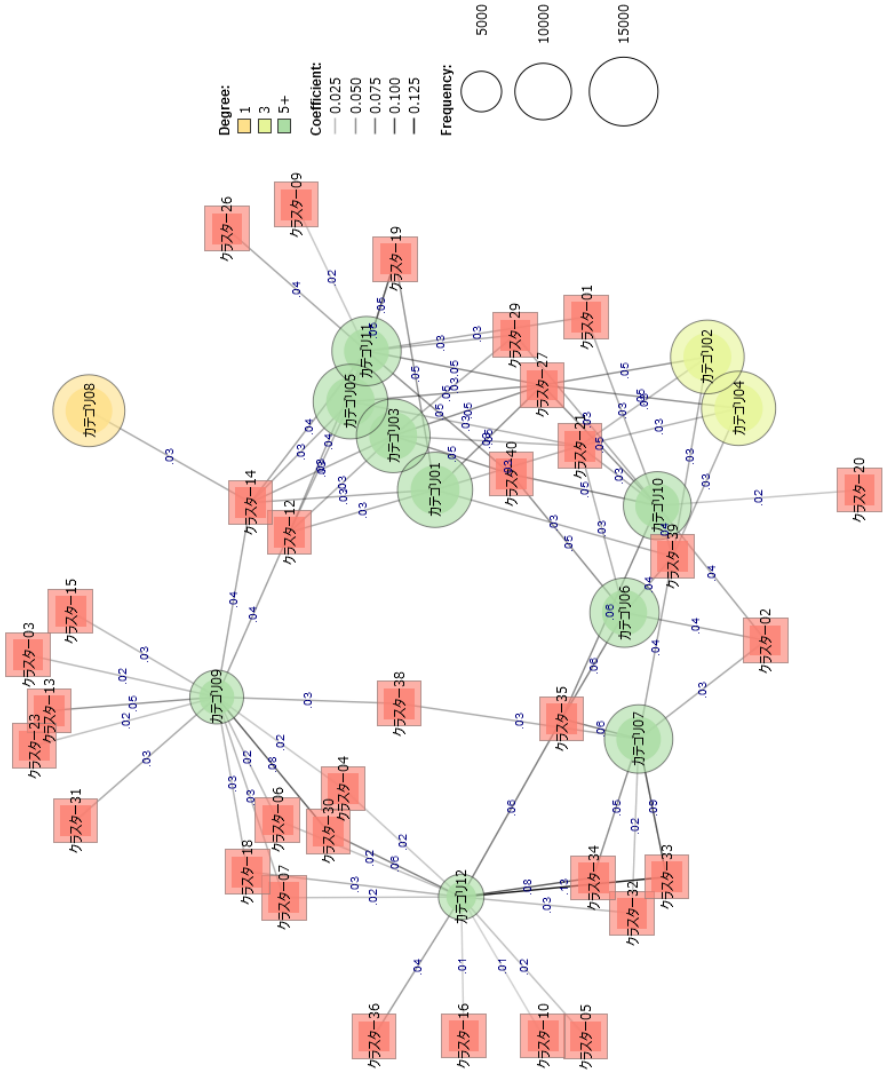
寺脇研『百マス計算でバカになる』/ちきりん『自分のアタマで考えよう』/平田オリザ『下  
り坂をそろそろと下りる』/三浦展『第四の消費』/税所篤快『ゆとり世代の愛国心』/佐  
藤俊樹『不平等社会日本』/パオロ・マツァリーノ『スタンダード 反社会学講座』/酒  
井信『平成人 (フラット・アダルト)』/安西祐一郎『「デジタル脳」が日本を救う』/佐野  
眞一『この国の品質』/新井紀子『AI vs. 教科書が読めない子どもたち』/西田亮介『不寛  
容の本質』/速水由紀子『「つながり」という危うい快樂』/三浦展『ファスト風土化する日本』

資料編..... 117

# 新・間違いだらけの論客選び

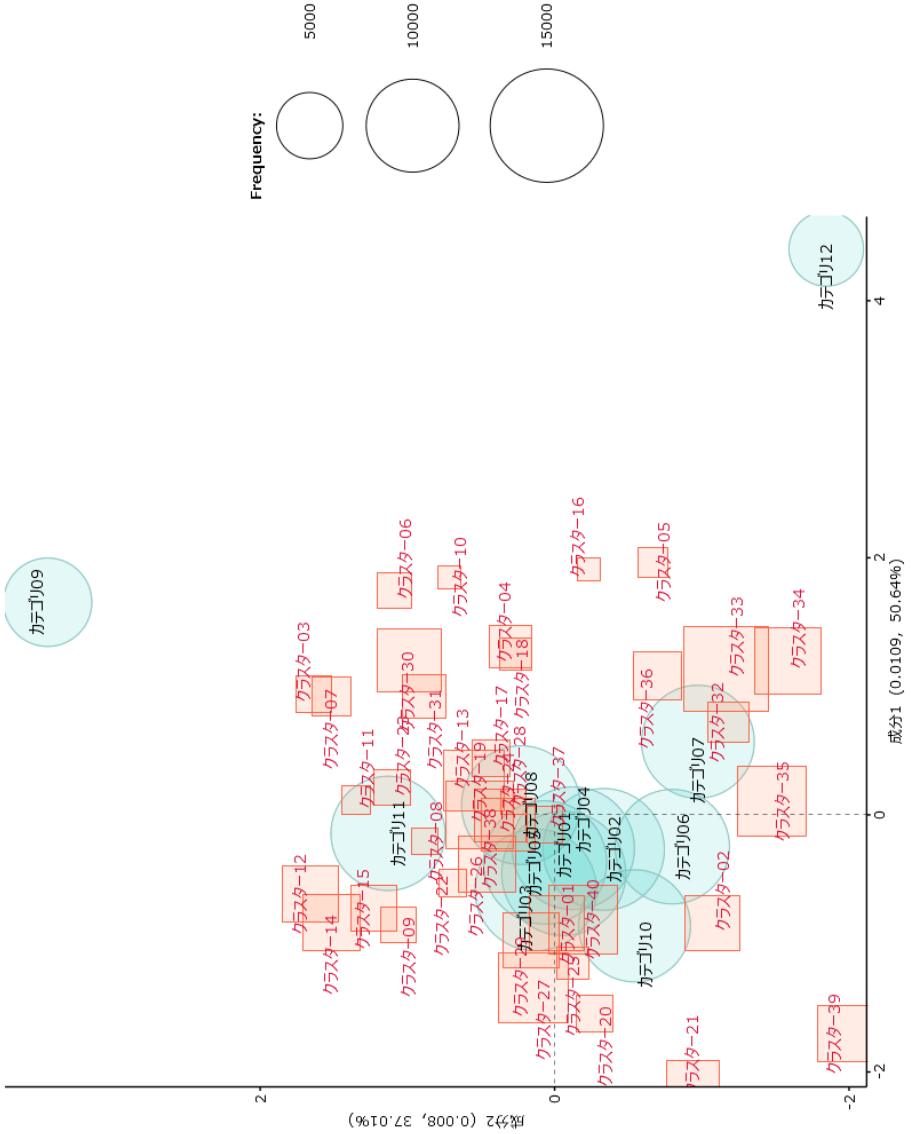
— 計量テキスト分析による〈平成論壇〉の生態の解明 (月刊テキストマイニングレポート Vol.20)

共起ネットワークによる単語カテゴリとクラスターの関係  
(上位 80 の共起、集計は小見出しごと)





対応分析による単語カテゴリとクラスターの布置  
(集計は小見出しごと)



# 新・間違いだらけの論客選び

—計量テキスト分析による〈平成論壇〉の生態の解明（月刊テキストマイニングレポート Vol.20）

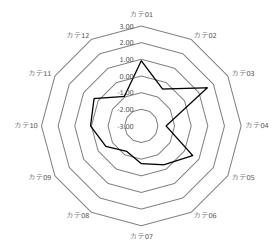
## クラスター01 — 「教育」をめぐる論客の 呉越同舟

1990年代の主要なテーマとして挙げられるのが「教育」で、このクラスターにおいては、いわゆる「ゆとり教育」の文部科学省側の推進派（スポークスマン）である寺脇研と、それにやや親和的であった尾木直樹、そしてそれを厳しく批判した和田秀樹、並びに「現場」の立場から子供の現状を嘆いた論客である「プロ教師の会」の諏訪哲二と河上亮一が入るといふ、まさに呉越同舟と言うべきものとなった。同時代の、教育というテーマを扱っている以上、そのような結果になるのは理解できるが、もう少し散らばってもよさそうな気がする。

レーダーチャートの形状も、意外にも寺脇研と和田及び河上が似たような形状となった。また、本書で取り上げる時代以前から同様のスタンスで活動していた（そのため1990年代以降の諏訪の言動については「自分たちのいままで言ってきたことが認められるようになった」というものが多い）諏訪については、もう少し思想・哲学系の単語の得点が増えるかと推測されたが、そうはならなかった。どちらかと言えばバラ系教育言説への批判がメインになっているものと推測される。

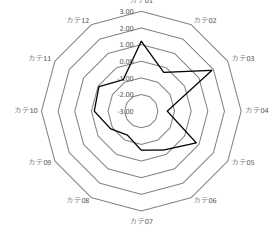
### C01\_01\_寺脇研『動き始めた教育改革』

関連語			単語カテゴリ集計			
単語数	単語	Jaccard係数	カテゴリ	観測数	割合	得点
800以上	54.873		カテゴリ01 一般	1,601	78.83%	0.9137
	800以上	0.0465	カテゴリ02 社会	418	20.58%	-0.4403
	10.316	0.0409	カテゴリ03 生活	878	43.23%	1.5789
	18.80%	0.0337	カテゴリ04 社会思想	232	11.42%	-1.5144
1000以上	9.681	0.0297	カテゴリ05 コミュニケーション	658	32.40%	0.5677
	17.64%	0.0282	カテゴリ06 政治活動	210	10.34%	-0.3004
1200以上	9.190	0.0260	カテゴリ07 政治思想	142	6.99%	-0.7300
	16.75%	0.0255	カテゴリ08 メディア	152	7.48%	-1.2334
1500以上	8.512	0.0233	カテゴリ09 文化	55	2.71%	-0.5376
	15.51%	0.0231	カテゴリ10 経済、福祉	264	13.00%	0.0523
2000以上	7.662	0.0221	カテゴリ11 日常、愚痴	311	15.31%	0.2806
	13.96%		カテゴリ12 哲学	2	0.10%	-0.9599
			文総数	2,031		



### C01\_02\_寺脇研『何処へ向かう教育改革』

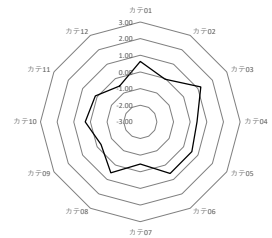
関連語			単語カテゴリ集計			
単語数	単語	Jaccard係数	カテゴリ	観測数	割合	得点
800以上	54.862		カテゴリ01 一般	1,659	81.36%	1.2034
	800以上	0.0456	カテゴリ02 社会	453	22.22%	-0.3114
	10.580	0.0395	カテゴリ03 生活	958	46.98%	1.9015
	19.28%	0.0368	カテゴリ04 社会思想	246	12.06%	-1.4448
1000以上	9.958	0.0309	カテゴリ05 コミュニケーション	698	34.23%	0.8101
	9.958	0.0280	カテゴリ06 政治活動	211	10.35%	-0.2993
	18.15%	0.0254	カテゴリ07 政治思想	162	7.95%	-0.6516
1200以上	9.496	0.0254	カテゴリ08 メディア	139	6.82%	-1.3335
	17.31%	0.0244	カテゴリ09 文化	16	0.78%	-0.8690
1500以上	8.881	0.0237	カテゴリ10 経済、福祉	224	10.99%	-0.1712
	16.19%	0.0220	カテゴリ11 日常、愚痴	262	12.85%	-0.0576
2000以上	8.048		カテゴリ12 哲学	11	0.54%	-0.8245
	14.67%		文総数	2,039		



# クラスター01 —— 「教育」をめぐる論客の呉越同舟

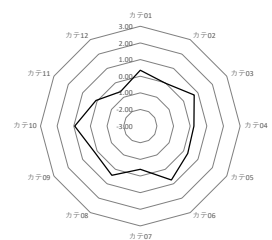
## C01\_03\_尾木直樹『子どもの危機をどう見るか』

関連語			単語カテゴリ集計			
単語数	単語	Jaccard係数	カテゴリ	観測数	割合	得点
800以上	15,164 19.17%	0.0798	カテゴリ01 一般	1,972	76.35%	0.6301
	19.17%	0.0436	カテゴリ02 社会	663	25.67%	-0.0397
1000以上	14,142 17.88%	0.0426	カテゴリ03 生活	1,002	38.79%	1.1976
	17.88%	0.0318	カテゴリ04 社会思想	753	29.15%	0.4074
1200以上	13,393 16.93%	0.0314	カテゴリ05 コミュニケーション	839	32.48%	0.5788
	16.93%	0.0288	カテゴリ06 政治活動	438	16.96%	0.5827
1500以上	12,362 15.63%	0.0286	カテゴリ07 政治思想	264	10.22%	-0.4645
	15.63%	0.0283	カテゴリ08 メディア	498	19.28%	0.5379
2000以上	10,900 13.78%	0.0273	カテゴリ09 文化	110	4.26%	-0.2704
	13.78%	0.0265	カテゴリ10 経済、福祉	396	15.33%	0.3113
			カテゴリ11 日常、愚痴	365	14.13%	0.1183
			カテゴリ12 哲学	40	1.55%	-0.5146
			文総数	2,583		



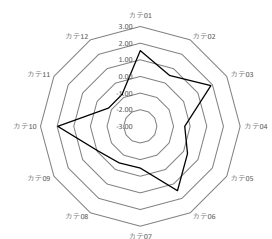
## C01\_04\_尾木直樹『思春期の危機をどう見るか』

関連語			単語カテゴリ集計			
単語数	単語	Jaccard係数	カテゴリ	観測数	割合	得点
800以上	14,763 19.43%	0.0658	カテゴリ01 一般	1,945	73.95%	0.3569
	19.43%	0.0536	カテゴリ02 社会	683	25.97%	-0.0159
1000以上	13,701 18.03%	0.0422	カテゴリ03 生活	880	33.46%	0.7394
	18.03%	0.0359	カテゴリ04 社会思想	721	27.41%	0.2190
1200以上	12,903 16.98%	0.0324	カテゴリ05 コミュニケーション	797	30.30%	0.2911
	16.98%	0.0302	カテゴリ06 政治活動	477	18.14%	0.7401
1500以上	11,827 15.57%	0.0256	カテゴリ07 政治思想	289	10.99%	-0.4014
	15.57%	0.0253	カテゴリ08 メディア	486	18.48%	0.4177
2000以上	10,130 13.33%	0.0248	カテゴリ09 文化	178	6.77%	0.1620
	13.33%	0.0240	カテゴリ10 経済、福祉	553	21.03%	0.9438
			カテゴリ11 日常、愚痴	364	13.84%	0.0784
			カテゴリ12 哲学	32	1.22%	-0.6165
			文総数	2,630		



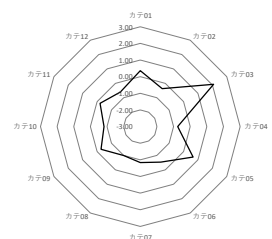
## C01\_05\_和田秀樹『学力崩壊』

関連語			単語カテゴリ集計			
単語数	単語	Jaccard係数	カテゴリ	観測数	割合	得点
800以上	11,684 19.75%	0.0662	カテゴリ01 一般	1,439	84.40%	1.5502
	19.75%	0.0415	カテゴリ02 社会	560	32.84%	0.5255
1000以上	10,859 18.36%	0.0414	カテゴリ03 生活	800	46.92%	1.8961
	18.36%	0.0390	カテゴリ04 社会思想	381	22.35%	-0.3304
1200以上	10,316 17.44%	0.0384	カテゴリ05 コミュニケーション	515	30.21%	0.2780
	17.44%	0.0336	カテゴリ06 政治活動	402	23.58%	1.4662
1500以上	9,387 15.87%	0.0308	カテゴリ07 政治思想	169	9.91%	-0.4899
	15.87%	0.0258	カテゴリ08 メディア	215	12.61%	-0.4636
2000以上	8,302 14.03%	0.0242	カテゴリ09 文化	94	5.51%	-0.0542
	14.03%	0.0239	カテゴリ10 経済、福祉	515	30.21%	1.9630
			カテゴリ11 日常、愚痴	127	7.45%	-0.7990
			カテゴリ12 哲学	11	0.65%	-0.7920
			文総数	1,705		



## C01\_06\_河上亮一『学校崩壊』

関連語			単語カテゴリ集計			
単語数	単語	Jaccard係数	カテゴリ	観測数	割合	得点
800以上	14,026 17.71%	0.1390	カテゴリ01 一般	2,281	73.99%	0.3606
	17.71%	0.1024	カテゴリ02 社会	664	21.54%	-0.3649
1000以上	13,195 16.66%	0.0475	カテゴリ03 生活	1,515	49.14%	2.0868
	16.66%	0.0348	カテゴリ04 社会思想	569	18.46%	-0.7520
1200以上	12,685 16.02%	0.0333	カテゴリ05 コミュニケーション	1,021	33.12%	0.6627
	16.02%	0.0313	カテゴリ06 政治活動	265	8.60%	-0.5332
1500以上	12,088 15.27%	0.0267	カテゴリ07 政治思想	175	5.68%	-0.8382
	15.27%	0.0216	カテゴリ08 メディア	280	9.08%	-0.9934
2000以上	10,982 13.87%	0.0213	カテゴリ09 文化	131	4.25%	-0.2720
	13.87%	0.0196	カテゴリ10 経済、福祉	159	5.16%	-0.8184
			カテゴリ11 日常、愚痴	363	11.77%	-0.2052
			カテゴリ12 哲学	39	1.27%	-0.6017
			文総数	3,083		

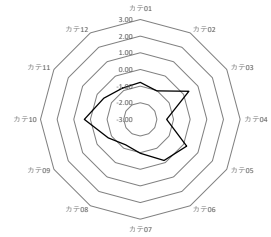


# 新・間違いだらけの論客選び

— 計量テキスト分析による〈平成論壇〉の生態の解明 (月刊テキストマイニングレポート Vol.20)

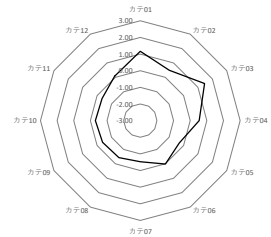
## C01\_07\_永山彦三郎『現場から見た教育改革』

関連語			単語カテゴリ集計			
単語数	単語	Jaccard係数	観測数	割合	得点	
55,282	単語		1,671	64.02%	-0.7778	
800以上	学習	0.0466	343	13.14%	-1.0261	
	ヤンキー	0.0395	761	29.16%	0.3696	
1000以上	要領	0.0316	322	12.34%	-1.4153	
	教員	0.0286	776	29.73%	0.2155	
1200以上	学力	0.0273	300	11.49%	-0.1463	
	不良	0.0269	109	4.18%	-0.9615	
1500以上	総合	0.0249	195	7.47%	-1.2353	
	子	0.0233	35	1.34%	-0.7732	
2000以上	高校	0.0226	413	15.82%	0.3660	
	地方	0.0219	258	9.89%	-0.4645	
			13	0.50%	-0.8372	
			文総数	2,610		



## C01\_08\_諏訪哲二『オレ様化する子どもたち』

関連語			単語カテゴリ集計			
単語数	単語	Jaccard係数	観測数	割合	得点	
81,567	単語		2,183	81.03%	1.1655	
800以上	個	0.1439	873	32.41%	0.4909	
	教師	0.0634	1,127	41.83%	1.4589	
1000以上	生徒	0.0609	818	30.36%	0.5387	
	市民	0.0453	696	25.84%	-0.2993	
1200以上	自救	0.0394	342	12.69%	0.0139	
	交換	0.0337	254	9.43%	-0.5297	
1500以上	一人ひとり	0.0328	346	12.84%	-0.4286	
	学級	0.0283	97	3.60%	-0.3838	
2000以上	近代	0.0264	265	9.84%	-0.2988	
	氏	0.0256	290	10.76%	-0.3438	
			94	3.49%	0.0813	
			文総数	2,694		



# クラスター 02 — 教育言説は「抵抗」から「対策」へ？

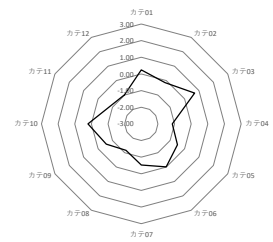
前クラスターが主に1990年代の教育言説だったのに対して、こちらは2000年代の教育言説で構成されている。2000年代半ば頃から、既に教育によって生み出されてしまった（劣化した世代としての）「ゆとり教育世代（ゆとり世代）」に対してどう「対処」するかという言説が出てきており、ここに入っている柘植や柿沼の言説はその一環とすることができる。単語の得点についても、カテゴリー 06 などの政治系言説が多く使われている著作も出てくるようになった。また、社会における「機会不平等」を扱った斎藤貴男の『機会不平等』がこのクラスターに入ったのは、同書が教育を中心に2000年代の社会状況を予測していたと解釈することもできるかもしれない。

そのような「ポストゆとり教育の世界」「ゆとり世代」が生み出されてしまった世界の解説や解釈に属する言説のほか、広田や寺嶋『教育の国家支配がすすむ』という、統制色を強める教育への批判的考察もこのクラスターに入った。

# クラスター02 ——教育言説は「抵抗」から「対策」へ?

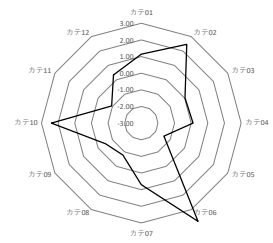
## C02\_01\_寺脇研『さらば ゆとり教育』

関連語			単語カテゴリ集計			
単語数	単語	Jaccard係数	カテゴリ	観測数	割合	得点
800以上	ゆとり教育	0.0997	カテゴリ01 一般	2,610	72.95%	0.2417
	学力	0.0445	カテゴリ02 社会	872	24.37%	-0.1418
	文科科学省	0.0374	カテゴリ03 生活	1,181	33.01%	0.7005
1000以上	偏差	0.0342	カテゴリ04 社会思想	532	14.87%	-1.1409
	学習	0.0334	カテゴリ05 コミュニケーション	872	24.37%	-0.4927
	子供	0.0269	カテゴリ06 政治活動	447	12.49%	-0.0131
1500以上	要領	0.0253	カテゴリ07 政治思想	339	9.47%	-0.5259
	教育	0.0239	カテゴリ08 メディア	285	7.97%	-1.1611
2000以上	教師	0.0238	カテゴリ09 文化	91	2.54%	-0.5660
	高校	0.0231	カテゴリ10 経済、福祉	515	14.39%	0.2072
			カテゴリ11 日常、愚痴	252	7.04%	-0.8547
			カテゴリ12 哲学	1	0.03%	-0.9815
			文総数	3,578		



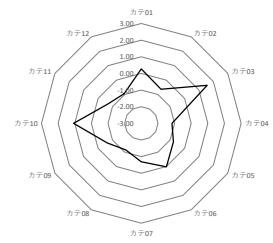
## C02\_02\_岩木秀夫『ゆとり教育から個性浪費社会へ』

関連語			単語カテゴリ集計			
単語数	単語	Jaccard係数	カテゴリ	観測数	割合	得点
800以上	審議	0.0464	カテゴリ01 一般	1,451	80.79%	1.1379
	学力	0.0427	カテゴリ02 社会	1,032	57.46%	2.4639
	学習	0.0402	カテゴリ03 生活	453	25.22%	0.0315
1000以上	要領	0.0344	カテゴリ04 社会思想	474	26.39%	0.1082
	高等	0.0313	カテゴリ05 コミュニケーション	310	17.26%	-1.4322
	産業	0.0296	カテゴリ06 政治活動	740	41.20%	3.8184
1200以上	産学	0.0294	カテゴリ07 政治思想	439	24.44%	0.7050
	文科科学省	0.0294	カテゴリ08 メディア	188	10.47%	-0.7853
1500以上	個性	0.0274	カテゴリ09 文化	51	2.84%	-0.5149
	進学	0.0273	カテゴリ10 経済、福祉	614	34.19%	2.4052
2000以上	改革	0.0263	カテゴリ11 日常、愚痴	115	6.40%	-0.9425
			カテゴリ12 哲学	78	4.34%	0.3434
			文総数	1,796		



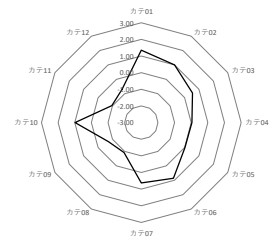
## C02\_03\_柘植智幸『「ゆとり教育世代」の恐怖』

関連語			単語カテゴリ集計			
単語数	単語	Jaccard係数	カテゴリ	観測数	割合	得点
800以上	ゆとり教育	0.1011	カテゴリ01 一般	1,731	73.19%	0.2698
	世代	0.0270	カテゴリ02 社会	429	18.14%	-0.6325
	塾	0.0242	カテゴリ03 生活	1,020	43.13%	1.5702
1000以上	入社	0.0232	カテゴリ04 社会思想	348	14.71%	-1.1576
	学力	0.0199	カテゴリ05 コミュニケーション	526	22.24%	-0.7742
	中小	0.0188	カテゴリ06 政治活動	301	12.73%	0.0182
1200以上	辞める	0.0187	カテゴリ07 政治思想	176	7.44%	-0.6930
	社員	0.0185	カテゴリ08 メディア	190	8.03%	-1.1508
1500以上	私立	0.0184	カテゴリ09 文化	50	2.11%	-0.6399
	経営	0.0179	カテゴリ10 経済、福祉	524	22.16%	1.0693
2000以上			カテゴリ11 日常、愚痴	198	8.37%	-0.6722
			カテゴリ12 哲学	4	0.17%	-0.9382
			文総数	2,365		



## C02\_04\_寺脇研『教育の国家支配がすすむ』

関連語			単語カテゴリ集計			
単語数	単語	Jaccard係数	カテゴリ	観測数	割合	得点
800以上	学習	0.0509	カテゴリ01 一般	2,098	82.66%	1.3519
	教科書	0.0497	カテゴリ02 社会	987	38.89%	1.0014
	教員	0.0448	カテゴリ03 生活	794	31.28%	0.5524
1000以上	文科科学省	0.0447	カテゴリ04 社会思想	654	25.77%	0.0406
	教育	0.0371	カテゴリ05 コミュニケーション	718	28.29%	0.0250
	行政	0.0354	カテゴリ06 政治活動	483	19.03%	0.8594
1200以上	生涯	0.0334	カテゴリ07 政治思想	596	23.48%	0.6260
	委員	0.0312	カテゴリ08 メディア	243	9.57%	-0.9194
1500以上	審議	0.0240	カテゴリ09 文化	43	1.69%	-0.7123
	高校	0.0240	カテゴリ10 経済、福祉	543	21.39%	0.9847
2000以上			カテゴリ11 日常、愚痴	160	6.30%	-0.9561
			カテゴリ12 哲学	25	0.99%	-0.6877
			文総数	2,538		

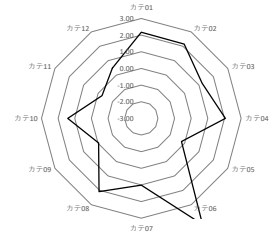


# 新・間違いだらけの論客選び

—計量テキスト分析による〈平成論壇〉の生態の解明（月刊テキストマイニングレポート Vol.20）

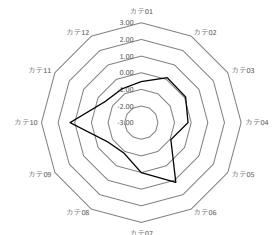
## C02\_05\_柳沼良太『ポストモダンの自由管理教育』

関連語			単語カテゴリ集計			
単語数	単語	Jaccard係数	カテゴリ	観測数	割合	得点
800以上	モダン	0.1342	カテゴリ01 一般	2,118	89.86%	2.1741
	ポスト	0.0879	カテゴリ02 社会	1,261	53.50%	2.1520
	教師	0.0551	カテゴリ03 生活	920	39.03%	2.1282
1000以上	学習	0.0540	カテゴリ04 社会思想	1,045	44.34%	2.0533
	個性	0.0537	カテゴリ05 コミュニケーション	624	26.47%	-0.2149
1200以上	管理	0.0530	カテゴリ06 政治活動	1,068	45.31%	4.3667
	指導	0.0513	カテゴリ07 政治思想	665	28.21%	1.0150
1500以上	加害	0.0473	カテゴリ08 メディア	697	29.57%	2.0833
	学級	0.0466	カテゴリ09 文化	132	5.60%	-0.0392
2000以上	従来	0.0430	カテゴリ10 経済、福祉	597	25.33%	1.4215
			カテゴリ11 日常、愚痴	266	11.29%	-0.2723
			カテゴリ12 哲学	113	4.79%	0.4820
			文総数	2,357		



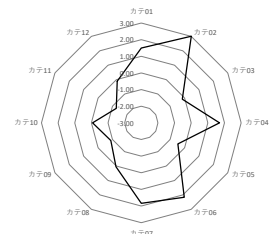
## C02\_06\_斎藤貴男『機会不平等』

関連語			単語カテゴリ集計			
単語数	単語	Jaccard係数	カテゴリ	観測数	割合	得点
800以上	派遣	0.0369	カテゴリ01 一般	2,577	66.16%	-0.5334
	介護	0.0320	カテゴリ02 社会	1,077	27.65%	0.1165
	保険	0.0317	カテゴリ03 生活	1,003	25.75%	0.0769
1000以上	組合	0.0297	カテゴリ04 社会思想	920	23.62%	-0.1923
	学園	0.0282	カテゴリ05 コミュニケーション	815	20.92%	-0.9481
1200以上	委員	0.0249	カテゴリ06 政治活動	826	21.21%	1.1498
	労働	0.0219	カテゴリ07 政治思想	622	15.97%	0.0082
1500以上	スタッフ	0.0208	カテゴリ08 メディア	380	9.76%	-0.8922
	改革	0.0206	カテゴリ09 文化	74	1.90%	-0.6768
2000以上	教育	0.0203	カテゴリ10 経済、福祉	938	24.08%	1.2831
			カテゴリ11 日常、愚痴	380	9.76%	-0.4822
			カテゴリ12 哲学	41	1.05%	-0.6669
			文総数	3,895		



## C02\_07\_広田照幸『《愛国心》のゆくえ』

関連語			単語カテゴリ集計			
単語数	単語	Jaccard係数	カテゴリ	観測数	割合	得点
800以上	改正	0.0487	カテゴリ01 一般	1,870	83.93%	1.4968
	教員	0.0459	カテゴリ02 社会	1,435	64.41%	3.0109
	教育	0.0395	カテゴリ03 生活	514	23.07%	-0.1535
1000以上	愛国心	0.0330	カテゴリ04 社会思想	915	41.07%	1.6991
	多様	0.0299	カテゴリ05 コミュニケーション	548	24.60%	-0.4630
1200以上	基本	0.0297	カテゴリ06 政治活動	642	28.82%	2.1652
	行政	0.0288	カテゴリ07 政治思想	851	38.20%	1.8358
1500以上	現行	0.0285	カテゴリ08 メディア	357	16.02%	0.0489
	公	0.0271	カテゴリ09 文化	16	0.72%	-0.8805
2000以上	東アジア	0.0263	カテゴリ10 経済、福祉	265	11.89%	-0.0703
			カテゴリ11 日常、愚痴	91	4.08%	-1.2608
			カテゴリ12 哲学	64	2.87%	-0.1081
			文総数	2,228		



# クラスター 03 —現代思想とオタク

教育に関する言説が並んだクラスター 1,2 から一転、こちらのクラスターにはアニメや漫画などに関する現代思想チックな議論が名を連ねている。4冊に共通して見られるのは、カテゴリ 8 の単語の多さで、これらの議論がメディアに関するものであることが伺えるが、大きく異なるものもある。例えば東浩紀と本田透のレーダーチャートを比較すると、東はカテゴリ 1,4,6 の単語の得点が高いのに対し、本田は少なく、代わりにカテゴリ 11 の得点が極端に高い。これは、本田の言説が、「愚痴」的な傾向を強く持っていることの表れとみることができよう。ただ、どちらかと言えば若者バッシング的な意味合いの強い岡田斗司夫の言説においては、このクラスターを特徴付

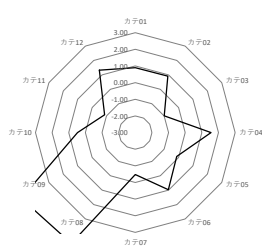
# クラスター 03 ——現代思想とオタク

けるカテゴリ 8 の得点を除いては、全体的にゼロ値に近い、要するに全体で見ても平均的であったという結果となっている。

あと、本田の関連語の「ギャラ」は、データの修正ミスです（「キャラ」が「ギャラ」と認識されたことの修正が一部漏れていたものと思われる）。次回以降の分析では是正します。

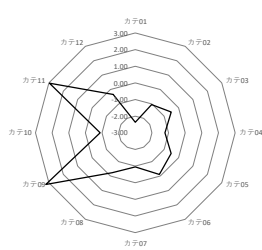
## C03\_01\_東浩紀『動物化するポストモダン』

単語数	50.213	関連語	単語	Jaccard係数	単語カテゴリ集計	観測数	割合	得点
800以上	9.629	データベース	0.0986	カテゴリ01 一般	1,114	78.67%	0.8959	
	19.18%	モダン	0.0643	カテゴリ02 社会	535	37.78%	0.9143	
1000以上	8.948	オタク	0.0549	カテゴリ03 生活	188	13.28%	-0.9950	
	17.82%	創作	0.0532	カテゴリ04 社会思想	562	39.69%	1.5496	
1200以上	8.214	筆者	0.0493	カテゴリ05 コミュニケーション	384	27.12%	-0.1297	
	16.36%	朝える	0.0403	カテゴリ06 政治活動	281	19.84%	0.9681	
1500以上	7.651	原作	0.0362	カテゴリ07 政治思想	143	10.10%	-0.4745	
	15.24%	作品	0.0336	カテゴリ08 メディア	665	46.96%	4.6949	
2000以上	6.490	ポスト	0.0333	カテゴリ09 文化	486	34.32%	4.9101	
	12.92%	サブカルチャー	0.0294	カテゴリ10 経済、福祉	238	16.81%	0.4753	
				カテゴリ11 日常、愚痴	98	6.92%	-0.8714	
				カテゴリ12 哲学	107	7.56%	1.3301	
				文総数	1,416			



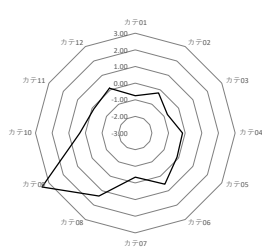
## C03\_02\_本田『電波男』

単語数	129.435	関連語	単語	Jaccard係数	単語カテゴリ集計	観測数	割合	得点
800以上	20.007	朝える	0.1236	カテゴリ01 一般	2,510	50.11%	-2.3673	
	15.46%	恋愛	0.1211	カテゴリ02 社会	645	12.88%	-1.0469	
1000以上	18.382	オタク	0.1186	カテゴリ03 生活	949	18.95%	-0.5078	
	14.20%	女	0.0653	カテゴリ04 社会思想	707	14.11%	-1.2226	
1200以上	17.038	男	0.0548	カテゴリ05 コミュニケーション	1,214	24.24%	-0.5105	
	13.16%	覚	0.0534	カテゴリ06 政治活動	591	11.80%	-0.1057	
1500以上	15.827	モテる	0.0516	カテゴリ07 政治思想	218	4.35%	-0.9471	
	12.23%	資本	0.0490	カテゴリ08 メディア	709	14.15%	-0.2317	
2000以上	13.748	妄想	0.0468	カテゴリ09 文化	1,226	24.48%	3.2134	
	10.62%	ギャラ	0.0404	カテゴリ10 経済、福祉	228	4.55%	-0.8856	
				カテゴリ11 日常、愚痴	1,745	34.84%	2.9609	
				カテゴリ12 哲学	106	2.12%	-0.3403	
				文総数	5,009			



## C03\_03\_森川嘉一郎『趣都の誕生』

単語数	67.650	関連語	単語	Jaccard係数	単語カテゴリ集計	観測数	割合	得点
800以上	10.173	秋葉原	0.1774	カテゴリ01 一般	1,306	64.21%	-0.7966	
	15.04%	図	0.0808	カテゴリ02 社会	477	23.45%	-0.2142	
1000以上	9.374	アニメ	0.0635	カテゴリ03 生活	322	15.83%	-0.7755	
	13.86%	建築	0.0624	カテゴリ04 社会思想	486	23.89%	-0.1626	
1200以上	8.664	デザイン	0.0603	カテゴリ05 コミュニケーション	555	27.29%	-0.1076	
	12.81%	趣味	0.0586	カテゴリ06 政治活動	340	16.72%	0.5505	
1500以上	7.511	オタク	0.0499	カテゴリ07 政治思想	236	11.60%	-0.3509	
	11.10%	漫画	0.0436	カテゴリ08 メディア	505	24.83%	1.3710	
2000以上	6.197	街	0.0378	カテゴリ09 文化	529	26.01%	3.4774	
	9.16%	キャラクター	0.0361	カテゴリ10 経済、福祉	316	15.54%	0.3341	
				カテゴリ11 日常、愚痴	253	12.44%	-0.1140	
				カテゴリ12 哲学	73	3.59%	0.1119	
				文総数	2,034			

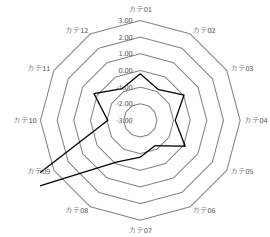


# 新・間違いだらけの論客選び

——計量テキスト分析による〈平成論壇〉の生態の解明（月刊テキストマイニングレポート Vol.20）

## C03\_04\_岡田斗司夫『オタクはすでに死んでいる』

単語数	関連語		単語カテゴリ集計			
	単語	Jaccard係数	観測数	割合	得点	
800以上	オタク	0.1435	カテゴリ01 一般	1,330	69.06%	-0.2028
	萌える	0.0482	カテゴリ02 社会	294	15.26%	-0.8589
1000以上	アニメ	0.0419	カテゴリ03 生活	486	25.23%	0.0325
	ファン	0.0375	カテゴリ04 社会思想	329	17.08%	-0.9010
1200以上	マンガ	0.0254	カテゴリ05 コミュニケーション	558	28.97%	0.1151
	定義	0.0201	カテゴリ06 政治活動	63	3.27%	-1.2438
1500以上	趣味	0.0195	カテゴリ07 政治思想	121	6.28%	-0.7883
	貴族	0.0185	カテゴリ08 メディア	289	15.01%	-0.1040
2000以上	世間	0.0184	カテゴリ09 文化	776	40.29%	5.9386
	ジャンル	0.0176	カテゴリ10 経済、福祉	60	3.12%	-1.0452
			カテゴリ11 日常、愚痴	286	14.85%	0.2170
			カテゴリ12 哲学	12	0.62%	-0.7988
			文総数	1,926		



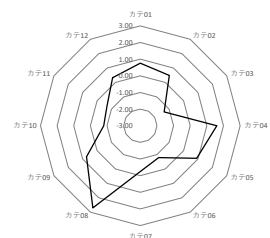
## クラスター 04 ——社会を語りたがるオタク言説

このクラスターも、現代のメディア文化に関する言説が中心だが、こちらはやや「社会派」寄りになっている。前著『間違いだらけの論客選び・改』で、村上の『ネトウヨ化する日本』について、北田の『嗤う日本の「ナショナリズム」』の劣化版に過ぎない、と書いたが、この2冊は同じクラスターに収まっているあたり、前著での筆者の見立ては誤っていなかったとすることができる。また、初期のネット掲示板のムーブメントを熱かった井上の著作が、後に出てくるネット関係の言説のクラスターではなく、こちらの社会系のクラスターに入った。

レーダーチャートの形状は、井上の著作を除くとほぼ似たような形状だった（円堂の著作は『ゼロ年代の論点』と、タイトルや章立てで総花的な社会評論を謳っているにもかかわらず、実際にはこういった文化系の議論と同じクラスターに収まったあたり、看板に偽りがあったと言える）。井上の著作はそもそも全体での主要な単語があまり使われていないのか、レーダーチャートはほぼんだ形となった。

## C04\_01\_村上裕一『ネトウヨ化する日本』

単語数	関連語		単語カテゴリ集計			
	単語	Jaccard係数	観測数	割合	得点	
800以上	持会	0.0543	カテゴリ01 一般	2,334	77.46%	0.7579
	2ちゃんねる	0.0540	カテゴリ02 社会	977	32.43%	0.4925
1000以上	動画	0.0371	カテゴリ03 生活	278	9.23%	-1.3430
	筆者	0.0366	カテゴリ04 社会思想	1,209	40.13%	1.5969
1200以上	ユーザー	0.0361	カテゴリ05 コミュニケーション	1,055	35.01%	0.9135
	コンテンツ	0.0335	カテゴリ06 政治活動	201	6.67%	-0.7900
1500以上	炎上	0.0299	カテゴリ07 政治思想	387	12.84%	-0.2488
	ネット	0.0288	カテゴリ08 メディア	1,015	33.69%	2.7014
2000以上	繋がる	0.0277	カテゴリ09 文化	304	10.09%	0.7344
	様々	0.0271	カテゴリ10 経済、福祉	161	5.34%	-0.7977
			カテゴリ11 日常、愚痴	250	8.30%	-0.6825
			カテゴリ12 哲学	130	4.31%	0.3347
			文総数	3,013		



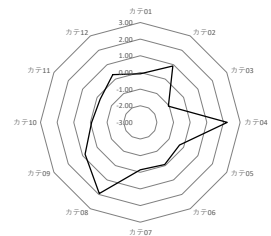


# クラスター 05—— 大澤真幸という論客

## C04\_02\_北田暁大『嗚う日本の「ナショナリズム」』

関連語		単語	Jaccard係数
単語数	89,548	単語	
800以上	13.633	反省	0.0685
	15.22%	言説	0.0526
1000以上	12.451	記号	0.0503
	13.90%	空間	0.0390
1200以上	11.340	差異	0.0360
	12.66%	形式	0.0357
1500以上	10.285	2ちゃんねる	0.0354
	11.49%	批評	0.0328
2000以上	8.955	広告	0.0312
	10.00%	位置	0.0308

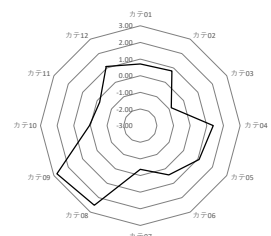
単語カテゴリ集計	観測数	割合	得点
カテゴリ01 一般	1,543	70.07%	-0.0866
カテゴリ02 社会	831	37.74%	0.9108
カテゴリ03 生活	277	12.58%	-1.0549
カテゴリ04 社会思想	1,011	45.91%	2.2242
カテゴリ05 コミュニケーション	573	26.02%	-0.2747
カテゴリ06 政治活動	266	12.08%	-0.0682
カテゴリ07 政治思想	310	14.08%	-0.1473
カテゴリ08 メディア	630	28.61%	1.9390
カテゴリ09 文化	235	10.67%	0.8348
カテゴリ10 経済、福祉	261	11.85%	-0.0749
カテゴリ11 日常、愚痴	258	11.72%	-0.2131
カテゴリ12 哲学	93	4.22%	0.3067
支総数	2,202		



## C04\_03\_円堂都司昭『ゼロ年代の論点』

関連語		単語	Jaccard係数
単語数	63,173	単語	
800以上	10.538	批評	0.1164
	16.68%	東	0.0600
1000以上	9.530	同書	0.0587
	15.09%	刊行	0.0456
1200以上	8.969	ウェブ	0.0336
	14.20%	ギャラ	0.0327
1500以上	8.117	文学	0.0297
	12.85%	郊外	0.0296
2000以上	6.872	論者	0.0293
	10.88%	小説	0.0279

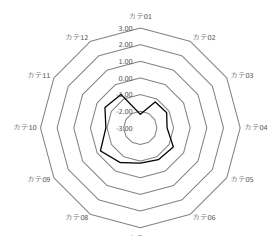
単語カテゴリ集計	観測数	割合	得点
カテゴリ01 一般	1,245	76.99%	0.7042
カテゴリ02 社会	586	36.24%	0.7928
カテゴリ03 生活	242	14.97%	-0.8498
カテゴリ04 社会思想	617	38.16%	1.3835
カテゴリ05 コミュニケーション	586	36.24%	1.0753
カテゴリ06 政治活動	255	15.77%	0.4243
カテゴリ07 政治思想	184	11.38%	-0.3692
カテゴリ08 メディア	526	32.53%	2.5275
カテゴリ09 文化	356	22.02%	2.7896
カテゴリ10 経済、福祉	211	13.05%	0.0579
カテゴリ11 日常、愚痴	193	11.94%	-0.1830
カテゴリ12 哲学	110	6.80%	1.0987
支総数	1,617		



## C04\_04\_井上トシユキ『2ちゃんねる宣言』

関連語		単語	Jaccard係数
単語数	93,743	単語	
800以上	12.802	2ちゃんねる	0.1488
	13.66%	ユーザー	0.0538
1000以上	11.876	掲示板	0.0532
	12.67%	舞台	0.0482
1200以上	10.662	書き込み	0.0291
	11.37%	サイト	0.0276
1500以上	9.637	面白い	0.0275
	10.28%	匿名	0.0260
2000以上	8.219	インターネット	0.0234
	8.77%	情報	0.0190

単語カテゴリ集計	観測数	割合	得点
カテゴリ01 一般	2,365	51.67%	-2.1889
カテゴリ02 社会	499	10.90%	-1.2024
カテゴリ03 生活	512	11.19%	-1.1746
カテゴリ04 社会思想	573	12.52%	-1.3956
カテゴリ05 コミュニケーション	1,041	22.74%	-0.7077
カテゴリ06 政治活動	301	6.58%	-0.8026
カテゴリ07 政治思想	237	5.18%	-0.8791
カテゴリ08 メディア	538	11.75%	-0.5921
カテゴリ09 文化	205	4.48%	-0.2324
カテゴリ10 経済、福祉	190	4.15%	-0.9301
カテゴリ11 日常、愚痴	425	9.29%	-0.5468
カテゴリ12 哲学	46	1.01%	-0.6815
支総数	4,577		



# クラスター 05—— 大澤真幸という論客

このクラスターに属した書籍は2冊で、いずれも大澤真幸の言説となった。大澤は社会学者としては1980年代の終わりにスペンサー・ブラウンの『形式の法則』の訳者として宮台真司とともにデビューしたあとは、宮台とは違った形で「論客」として活躍している。宮台がメディアを使って大々的に社会変革（実態は自身の権力の強化）を図ったのに対し、大澤は見田宗介の議論の枠組みを発展し「虚構の時代の終わり」「不可能性の時代」について考察を行うというスタイルとなった。

同じ著者だからか、レーダーチャートの形状も概ね似通っており、カテゴリ4,8,12の得点が高い。メディア文化に関する単語の得点が高いところが、大澤の言説もまた「批評」系の一角